

富山県小児医療等
提供体制検討会
中間とりまとめ（案）

2021（令和3）年12月

はじめに

富山県においては、人口 10 万人あたりの小児科医数は全国平均より多いものの、地域偏在や医師の高齢化等の問題を抱えながら、各地域の中核的医療機関、県医師会、小児科医会、かかりつけ医をはじめとする、多くの医療機関及び医療従事者の懸命な取組によって、県民ニーズに応えるべく相当程度の水準の小児医療が提供されている。

しかし近年、働き方改革に取り組む中での小児救急に携わる医師の確保、医療技術の進歩に伴う医療的ケア児の増加に加え、不登校・発達障害・自殺未遂・虐待によるトラウマなどで生きづらさを抱える子どもの増加等、小児医療を取り巻く環境は変化し、小児医療はなお一層の充実強化が必要となっている。

こうした多種多様なニーズに対応する小児医療の具現化のためには、人材の育成・確保、医療資源の効果的な活用、地域医療の維持など、さまざまな課題を解決していく必要があり、富山県の子どもたちのために、質の高い小児医療を提供するための取組の方向性や医療機能・体制の在り方について、幅広い視点から検討することが求められてきた。

こうした状況を踏まえ、富山県では、令和 3 年 6 月に「富山県小児医療等提供体制検討会」を、同年 7 月には検討会の下に 2 つの「ワーキンググループ（小児医療全般）と（こころの問題）」を設置し、小児医療提供体制の強化に向けた検討を開始した。検討会は計 2 回、ワーキンググループは計 5 回開催し、医療関係者並びに患者団体をメンバーとして、富山県の実情に即した小児医療体制の在り方について話し合いを続けてきた。

本中間とりまとめは、検討会及びワーキンググループにおいて、今後の富山県の小児医療提供体制についての、基本的な方向性と当面の対応及び将来ビジョンについて検討を行った内容を取りまとめたものである。

小児医療等提供体制（各論） — 当面の対応から将来ビジョンまで —

富山県小児医療等提供体制検討会 今後目指すべき取組事項
中間とりまとめ 概要

課題

基本的な方向性・当面の対応

長期的な課題・引き続き検討していく事項など

1 小児科医不足

- 日中・通常の診療は、地域における小児科及び小児科を標榜する内科において実施
- 医療圏ごとの医師会に学校医、予防接種、急患センターへの医師派遣の協力要請を継続
- 富山大学医学部入試特別枠などを活用した小児科医の養成

- ★ 少子化、国の働き方改革等も踏まえた人材の確保
 - ・ 富山大学において引き続き小児科医・総合診療医等を育成
 - ・ 総合診療医の小児科医療への参入促進
 - ・ 医療機関ごとの役割分担と連携の促進

2 救急医療

- 富山大学、公的病院、医師会等が協力し、4医療圏ごとに小児急患センターを維持
(例) 富山医療圏ではR3.4から小児急患センターの開設時間を見直し
- 各医療圏における二次輪番体制を維持
勤務した医師が翌日に十分休める体制づくり
- #8000の利用促進と救急医療に関する普及啓発

- ★ 持続可能な救急医療体制の検討
 - ・ 4医療圏ごとの体制を引き続き維持
 - ・ 患者の利便性や少子化、医療従事者の働き方改革の観点等も踏まえ検討
 - ・ 二次輪番病院への負担軽減を図るため、将来的なオンライン診療の可能性も含め検討

3 高度医療

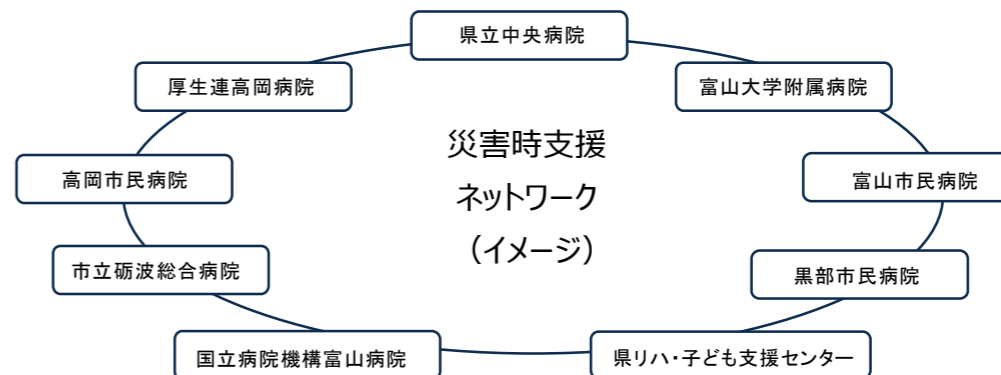
- 県立中央病院(以下「県中」)、富山大学附属病院(以下「富大附属病院」)、厚生連高岡病院(以下「厚生連高岡」)を中心としたネットワークの維持・強化
 - ・ 富大附属病院は病院内に「こども医療センター」(仮称)を設置し、専門分野の見える化

- ★ 各病院の得意分野(役割分担)を推進・データも活用しながら県民への見える化
(例) 富山県高度小児医療ネットワーク
 県中：小児救命救急、小児外科
 富大附属病院：悪性新生物、心疾患
 厚生連高岡：県西部の周産期医療 等

4 在宅医療 (医療的ケア児)

- ① 病状悪化時、災害時の対応
 - 児の急変時は、県中、富大附属病院、厚生連高岡が中心となって救急対応
 - 県中に常時完全看護ができる病床を確保
 - 災害時に備えた体制の整備
 - ・ 県中を中心に災害時支援ネットワークの形成
 - ・ MEISの活用促進
 - ・ 医療機関の貸出し用非常用電源の整備
- ② 平時の対応
 - 在宅療養支援のため、訪問診療や訪問看護ステーションのさらなる充実強化
 - 県リハビリテーション病院・子ども支援センター(以下「県リハ」)内の医療的ケア児等支援センターとの連携促進

- ★ 医療機関としてできることを検討
(例)・保護者の急変時の児の居場所の確保
レスパイトケア提供の場(短期入所(空床型))



小児医療等提供体制（各論） — 当面の対応から将来ビジョンまで —

課題

基本的な方向性・当面の対応

長期的な課題・引き続き検討していく事項など

5 こころの問題

<イメージ>

■子どものこころの診療を専門とする小児科医、児童精神科医の育成

- ・児童精神科医を育成するための研修カリキュラムの整備
- ・小児科医、精神科医を対象とした児童精神の研修マニュアルの作成、研修会の実施
- ・地域の小児科医等を対象とした発達障害初期対応マニュアルの整備
- ・プライマリケアに係る研修会の実施
- ・専門医とプライマリケアを担う小児科医等の診療情報提供書及び共通症状評価シートの整備

※既存のマニュアル等を最大限活用

- 発達障害等の子どものかかわる診療体系のシステムの構築
<医療機関の役割分担など>
 - ・「気になる子」
⇒地域の医療機関においてアセスメントと診療実施
 - ・2次障害を発症している児・トラウマに苦しむ児
⇒地域の専門診療所、基幹病院においてアセスメントと継続的治療実施
 - ・専門的治療を要する児
⇒県リハ、独立行政法人国立病院機構富山病院（以下「富山病院」）、高岡市きずな子ども発達支援センター（以下「きずな」）において専門的治療を実施
 - ・学校等における発達障害等への理解促進

- 県リハの診療体制の充実
- 入院を要する救急患者等は県中精神科を中心に実施
- 富山大学を中心とした子どものこころの診療を専門とする児童精神科医・小児科医等の育成
 - ・児童精神科医の育成システムの構築をスタート
 - ・児童精神の患者も診れる小児科医の育成
 - ・富山大学において公認心理師の育成

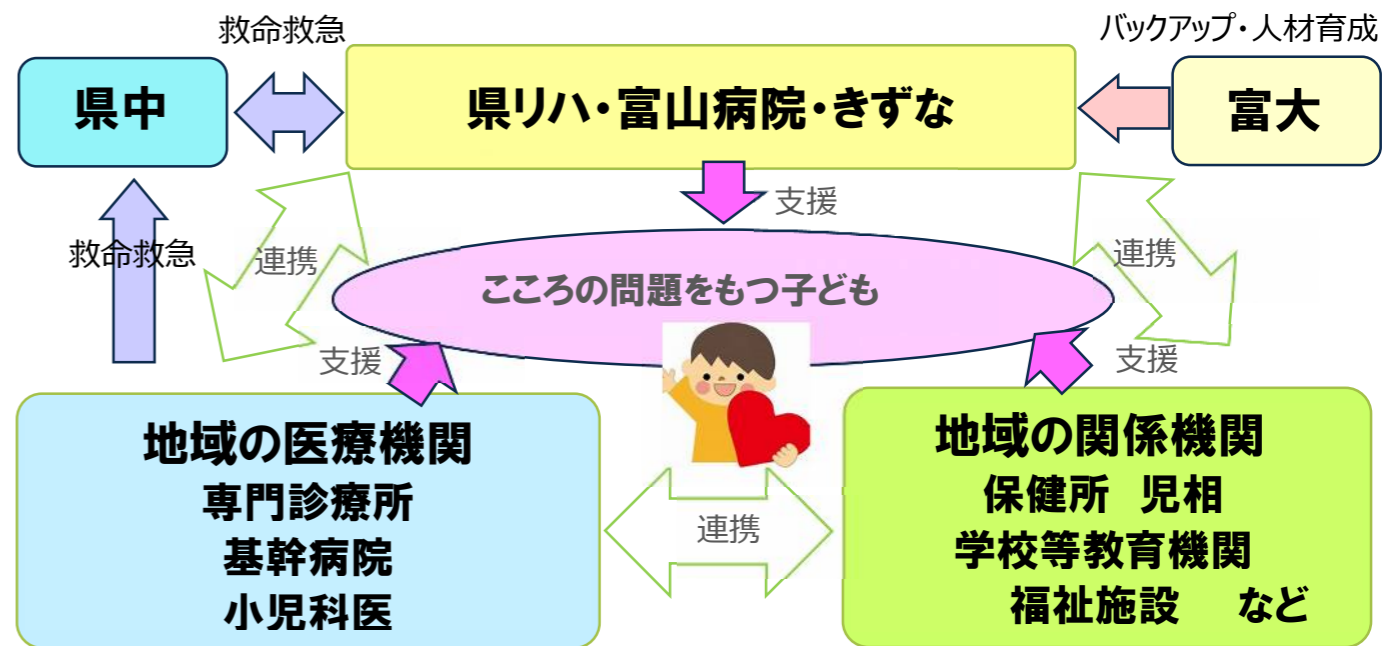
- 児童相談所における医療機能の強化
- 相談支援・情報提供機能の充実・周知
 - ・#8000 など相談支援の継続
 - ・専門医による身近に相談できる支援
オンラインや画像を活用した「顔の見える」相談支援の実施
 - ・医療情報ガイドの全国統一化（R6）への対応

- 情報交換・協議の場の継続
 - ・医療計画に基づき小児医療について専門家が協議する場を継続

6 相談支援・ 情報提供

7 その他

- ★ 医療機関における診療体制の充実
 - ・患児の状態に応じた段階的な診療体制の構築
 - ・児童精神科医等の育成状況を踏まえ、入院治療体制の構築を検討
- ★ 県全体で連携し、子どものこころを支える体制の充実
 - ・児童相談所、学校など関係機関との連携促進



- ★ 将来的な休日・夜間のオンライン診療システムの可能性を検討

- ★ 第8次県医療計画の策定（R6）
国の指針や県内状況を踏まえ、新たな中期ビジョンを策定・推進

目 次

第1章 小児医療の概要	1
第2章 必要となる医療機能	2
第3章 小児医療の現状	5
第4章 小児医療の提供体制における課題と施策	7
(1) 課題に対するこれまでの取組	7
(2) 中間評価・数値目標	9
(3) 医療体制	10
(4) 現状把握のための指標	12
第5章 今後目指すべき取組事項	13
付属資料	19
(1) 関係データ	19
(2) 富山県小児医療等提供体制検討会設置要綱	56
(3) 委員名簿	57
(4) 富山県小児医療等提供体制の検討経緯	60
(5) 小児医療等提供体制検討会ワーキンググループの提言	61

第1章 小児医療の概要

1. 小児医療とは

- 小児医療の対象は、一般的には生後から14歳までといわれています。また、対象疾患は、患者の多い感染症から慢性疾患まで多岐にわたります。
- 小児医療に求められる機能は様々ですが、本計画においては、小児救急医療も含めて一括して記載します。

2. 小児人口等

- 本県の出生数は、2000（平成12）年は10,170人（全国：1,190千人）でしたが、2020（令和2）年は6,256人（全国：841千人）と減少しています¹。また、小児（0歳から14歳まで。以下同じ。）人口も、2000（平成12）年は157,179人（全国：18,472千人）でしたが、2020（令和2）年は116,349人（全国：15,025千人）と減少しています²。

3. 小児の疾病構造

- 2017（平成29）年10月現在、1日当たりの全国の小児患者数（推計）は、入院で約2.8万人、外来で約71万人となっています³。
- 入院については、呼吸器系の疾患（15.6%）のほか、「先天奇形、変形及び染色体異常」（11.3%）、神経系の疾患（7.6%）が多くなっています³。
- 外来については、急性上気道感染症（16.0%）をはじめとする呼吸器系の疾患（37.8%）が多くなっています³。
- 本県の小児慢性特定疾患医療給付件数は、2005（平成17）年度は803件、2010（平成22）年度は945件、2019（令和元）年度は792件となっています。また、2019（令和元）年度の疾患内訳は、内分泌疾患28.4%、次いで悪性新生物17.1%、慢性心疾患13.3%となっています⁴。

¹ 厚生労働省「人口動態統計」

² 総務省「人口推計」各年10月1日現在、富山県「人口移動調査」

³ 厚生労働省「患者調査」

⁴ 厚生労働省、県健康課調べ

第2章 必要となる医療機能

小児医療

1. 健康相談等の支援の機能【相談支援等】

目 標

- 子どもの急病時の対応等を支援すること
- 慢性疾患の診療や心の診療が必要な児童及びその家族に対し、地域の医療資源や福祉サービス等について情報を提供すること
- 不慮の事故等の救急対応が必要な場合に、救急蘇生法等を実施できること
- 小児かかりつけ医を持つとともに、適正な受療行動をとること

関係者に求められる事項

(家族等周囲にいる者)

- 必要な時に行政等が実施している育児や救急に関する相談窓口を活用できること
- 不慮の事故の原因となるリスクを可能な限り取り除くこと
- 救急蘇生法等の適切な処置を実施すること

(消防機関等)

- A E D（自動体外式除細動器）の使用を含む救急蘇生法や不慮の事故予防に対する必要な知識を家族等に対し指導すること
- 急性期医療を担う医療機関へ速やかに搬送すること
- 救急医療情報システム等を活用し、適切な医療機関へ速やかに搬送すること

(行政機関)

- 育児や救急に関する相談窓口の周知を図ること
- 休日・夜間等に子どもの急病等に関する相談体制を確保すること
- 急病時の対応など受療行動に係る啓発を実施すること
- A E Dの使用を含む救急蘇生法や不慮の事故予防に対する必要な知識を家族等に対し指導する体制を確保すること
- 慢性疾患の診療や心の診療が必要な児童及びその家族に対し、地域の医療資源や福祉サービス等について情報を提供すること

2. 一般小児医療を担う機能【一般小児医療】

目 標

- 地域に必要な一般小児医療を実施すること
- 生活の場（施設を含む。）での療養・療育が必要な小児に対し、支援を実施すること

医療機関に求められる事項

- 一般的な小児医療に必要とされる診断・検査・治療を実施すること
- 入院設備を有する場合に、軽症者の入院診療を実施すること
- 他の医療機関の小児病棟や新生児集中治療管理室（N I C U）等から退院するときに、生活の場（施設を含む。）での療養・療育が必要な小児に対し、支援を実施すること
- 訪問看護ステーション、福祉サービス事業者、行政等との連携により、医療、介護及び福祉サービスを調整すること

- 医療型障害児入所施設など、自宅以外の生活の場を含む在宅医療を実施すること
- 家族に対する精神的サポート等の支援を実施すること
- 慢性疾患の急変時に備え、対応可能な医療機関と連携していること
- 診療情報や治療計画を共有するなど、専門医療を担う地域の病院と連携していること

医療機関等の例

- 小児科を標榜する病院・診療所
- 訪問看護ステーション

3. 小児専門医療を担う機能【小児専門医療】

目 標

- 一般小児医療を担う機関では対応が困難な患者に対する専門医療を実施すること

医療機関に求められる事項

- 高度の診断・検査・治療や、勤務医の専門性に応じた専門医療を行うこと
- 一般の小児医療を担う機関では対応が困難な患者や、常時監視・治療の必要な患者等に対する入院診療を行うこと
- 小児科を標榜する診療所や病院等と連携体制を形成し、地域で求められる小児医療を全体として実施すること
- より高度専門的な対応について、高度小児専門医療を担う病院と連携していること
- 療養・療育支援を担う施設と連携するとともに、在宅医療を支援していること
- 家族に対する精神的サポート等の支援を実施すること

医療機関の例

- 地域周産期母子医療センターを有する病院
- 入院可能で常勤小児科医師が勤務する病院

4. 高度な小児専門医療を担う機能【高度小児専門医療】

目 標

- 小児専門医療を担う医療機関では対応が困難な患者に対する高度な専門入院医療を実施すること

医療機関に求められる事項

- 関係医療機関との連携により、小児専門医療を担う医療機関では対応が困難な患者に対する高度専門的な診断・検査・治療を実施し、医療人材の育成、交流などを含め地域医療に貢献すること
- 療養・療育支援を担う施設と連携していること
- 家族に対する精神的サポート等の支援を実施すること

医療機関の例

- 総合周産期母子医療センターを有する病院
- 大学附属病院
- 救命救急センターを有する病院

小児救急医療

1. 初期小児救急医療を担う機能【初期小児救急】

目 標

- 初期小児救急を実施すること

医療機関に求められる事項

- 休日夜間急患センター等において、平日夜間や休日の初期小児救急医療を実施すること
- 緊急手術や入院等を要する場合に備え、対応可能な医療機関と連携していること
- 地域で小児医療に従事する開業医等が、夜間休日の初期小児救急医療に参画すること

医療機関の例

(平日日中)

- 小児科を標榜する病院・診療所

(夜間休日)

- 休日夜間小児急患センター

2. 入院を要する小児救急患者に対する医療を担う機能【入院小児救急】

目 標

- 入院を要する小児救急患者に対する医療を24時間体制で実施すること

医療機関に求められる事項

- 小児科医師や看護師などの人員体制を含め、入院を要する小児救急患者に対する医療を24時間365日体制で実施可能であること
- 小児科を標榜する診療所や病院等と連携し、入院を要する小児救急患者に対する医療を担うこと
- 高度専門的な対応について、小児救命救急医療を担う病院と連携していること
- 療養・療育支援を担う施設と連携していること
- 家族に対する精神的サポート等の支援を実施すること

医療機関の例

- 病院群輪番制⁵に参加している病院

3. 小児の救命救急医療を担う機能【小児救命救急医療】

目 標

- 小児の救命救急医療を24時間体制で実施すること

医療機関に求められる事項

- 入院小児救急等を担う医療機関からの紹介患者や救急搬送による患者など、重篤な小児患者に対する救急医療を24時間365日体制で実施すること
- 療養・療育支援を担う施設と連携していること
- 家族に対する精神的サポート等の支援を実施すること

医療機関の例

- 救命救急センターを有する病院

⁵ 救急医療において、休日や夜間に対応できる病院が日を決めて順番に担当する仕組み。

第3章 小児医療の現状

1. 死亡数等

- 乳児死亡率（出生千対）は、1990（平成2）年、本県は6.3と全国の4.6を大きく上回っていましたが、周産期保健医療対策に取り組んできた結果、年々減少し、2019（令和元）年は1.2（全国：1.9）と全国を下回っています。
- 乳児死亡の原因は、「先天奇形・変形・染色体異常」が多くなっています⁶。
- 乳幼児（0～4歳）の死亡率（乳幼児人口10万対）は2019（令和元）年に40.6（全国：47.2）となっています⁶。乳幼児死亡の主な原因は、「先天奇形・変形・染色体異常」、「周産期に発生した病態」などとなっています。
- 小児（0～14歳）の死亡率（小児人口10万対）は、2019（令和元）年に17.8（全国：19.8）となっています⁶。死亡の主な原因は「不慮の事故」、「先天奇形・変形・染色体異常」などとなっています。

2. 小児科医師等

- 2000（平成12）年から2018（平成30）年までの間に小児科医師の数は143人（全国：14,156人）から147人（全国：17,321人）へと微増しています⁷。また、小児人口1万人当たりの小児科医師数でも、9.1人（全国：7.7人）から12.0人（全国：10.3人）へと増加傾向にあります。医療圏別では、新川医療圏が6.2人、富山医療圏が15.1人、高岡医療圏が11.1人、砺波医療圏が7.5人となっており、医療圏によって格差があります。
- 2018（平成30）年に小児科を標榜している病院は32施設、小児人口10万人当たり25.4施設（全国：16.4施設）、小児科を標榜している診療所は45施設、小児人口10万人当たり35.8施設（全国：34.0施設）とどちらも全国より多くなっています⁸。
- 2013（平成25）年に小児に対応している訪問看護ステーション数は1施設、小児人口10万人当たり0.7施設（全国：2.3施設）と全国より少なくなっています⁸。

3. 相談支援等

（相談支援等）

- 小児医療に関連する業務は、育児不安や小児の成長発達上の相談、親子の心のケア、予防接種、児童虐待への対応等の保健活動が占める割合が大きくなっています。

4. 小児救急

（小児救急搬送）

- 18歳未満の救急搬送件数は、2010（平成22）年は2,702人（全国：45.6万人）、2019（令和元）年は2,818人（全国：49.6万人）とほぼ横ばいになっています⁹。
- 2019（令和元）年の18歳未満の救急搬送において入院の必要のない軽症者の割合は64.4%

⁶ 厚生労働省「人口動態統計」

⁷ 厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」

⁸ 小児医療の体制構築に係る現状把握のための指標

⁹ 県消防課 防災・危機管理課「富山県消防防災年報」

となっています⁹。

- 児童虐待に関する相談が増加している中、小児科診察における子どもの虐待の早期発見の役割は大きく、保健機関や児童福祉機関との連携の必要性が高くなっています。

(小児救急電話相談)

- 夜間における子どもの急な病気やけがの際に相談ができる子ども医療電話相談（#8000）が2回線設置されています¹⁰。
- 2020（令和2）年度の子ども医療電話相談（#8000）の相談件数は6,384件、小児人口10万人当たり5,293件（全国：5,022件）となっており、年々増加傾向にあります¹⁰。

(休日夜間小児急患センター等)

- 各医療圏に休日夜間小児急患センターが整備されています。また、医師会や病院勤務医等の協力により運営が維持され、第二次・第三次救急医療機関の負担軽減が図られています。
- 2019（令和元）年度の小児の時間外外来受診件数は44,999件、小児人口10万人当たり36,478件（全国：26,897件）と全国より多くなっています⁸。

(第二次小児救急・第三次小児救急)

- 各医療圏に入院小児救急（第二次小児救急）を担う医療機関が整備されています。
- 県立中央病院と厚生連高岡病院の救命救急センターにおいて、小児救命救急（第三次小児救急）医療が提供できる体制を整備しています。
- 2017（平成29）年度に第二次小児救急医療機関及び第三次小児救急医療機関を受診した小児患者のうち84.3%は入院が必要でない患者となっています¹⁰。このように、小児救急患者については、その多くが軽症者であり、かつ、重症患者を扱う医療機関に多数受診しています。

5. 小児専門医療・高度小児専門医療

- 各医療圏に小児専門医療を担う医療機関が整備されています。
- 高度小児専門医療を担う医療機関として、県立中央病院、厚生連高岡病院、富山大学附属病院があります。
- 小児心疾患の手術や白血病等の小児がんの治療は、主に富山大学附属病院において行われています。
- 小児がんについては、治療後も長期にわたり、日常生活や就学・就労に支障を及ぼすことがあるため、患者の教育や自立と、患者を支える家族に向けた長期的な支援や配慮が求められています。
- 総合周産期母子医療センターを有する県立中央病院を中心としてNICUでの高度な新生児医療が行われるとともに、入院を要する小児救急医療を24時間体制で行う医療機関がすべての医療圏で整備されています。
- PICU（小児集中治療室）を有する病院は、県内にはありません（全国：42病院）⁸。
- 精神発達の遅れや発達障害、情緒障害等の小児期の心の問題など、早期発見、早期支援のために、**子どものこころの医療**の充実が必要となっています。

¹⁰ 県医務課調べ

第4章 小児医療の提供体制における課題と施策

第1節 課題に対するこれまでの取組

[小児科医師等]

[課題①]

- 小児科医師の確保に向けた対策が必要となっています。

<これまでの取組>

- 富山大学や金沢大学へ特別枠で入学した¹¹医学生等への修学資金の貸与などを通じ、小児科医師の養成・確保に努めています。
- 医師が働きやすい勤務環境の整備を支援します。また、育児等のため休業中あるいは退職した女性医師の職場復帰を支援しています。
- 小児在宅医療を担う人材の育成を支援しています。

[小児救急]

[課題②]

- 休日夜間小児急患センターの運営の維持が必要です。
- 小児救急医療機関の負担軽減のため、子ども医療電話相談（#8000）の利用促進について普及啓発が必要です。
- 重症度や緊急度に応じて、適切な受診が行われるよう、県民への啓発を進めていく必要があります。

<これまでの取組>

- 休日夜間小児急患センターの運営を維持するなど、小児救急医療体制の維持に努めています。
- 子ども医療電話相談（#8000）を充実強化するとともに、利用促進について普及啓発を実施しています。
- 子どもが病気になったときの対応等を記載した「小児救急医療ガイドブック」などを活用し、小児救急の適正受診について普及啓発に努めています。
- 市町村等が実施する小児健診等の保健事業と連携し、疾病予防や事故予防、各種相談窓口、小児医療の適正受診等に係る普及啓発を行っています。

¹¹ 国の緊急医師確保対策及び骨太方針2009によって特別に認められた富山大学医学部医学科及び金沢大学医薬保健学域医学類の入学定員の増員分に係る入学定員枠。特別枠の医学生には、県が指定する公的病院の診療科（小児科、外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、小児外科、産科、麻酔科、救急科、総合診療科）に勤務することを返還免除要件とした修学資金が貸与される（富山大学特別枠定員：平成21年5名、平成22年～10名。金沢大学特別枠定員：平成22年～2名）。

[小児専門医療・高度小児専門医療]

〔課題③〕

- 高度小児専門医療体制の充実について検討が必要です。

<これまでの取組>

- 県立中央病院や富山大学附属病院において、NICUでの高度な新生児医療、小児心疾患や小児がんなどの高度小児専門医療の充実に努めています。
- 富山県リハビリテーション病院・こども支援センターにおいて、重症児専用ユニットや多職種連携によるチーム医療の提供により脳性まひ等重度障害児への支援を充実するとともに、自閉症やアスペルガー症候群、その他の広汎性発達障害等に対する診断や発達支援を行うなど子どもの多様な障害への対応を強化しています。
- 小児がんに関する医療の提供や相談支援などについて、国が指定するブロック内の小児がん拠点病院（東海・北陸ブロックは、名古屋大学医学部附属病院及び三重大学医学部附属病院）と連携し、小児がん患者とその家族が安心して適切な医療や支援を受けられる体制の整備を進めています。
- 県内の小児医療を担う医療機関は、小児がん拠点病院との役割分担と連携を進め、小児がん患者とその家族が、可能な限り住み慣れた地域で、医療や支援を受けながら生活し、教育を受けられるよう努めています。
- 小児科を標榜する病院、診療所とがん診療連携拠点病院、難病医療拠点病院、高度小児専門医療機関との連携の充実・強化を図っています。

第2節 中間評価

<数値目標の状況>

指標名及び指標の説明	策定時	直近	国	2023年	達成状況
乳児死亡率（出生千対）	1.5	1.2 (2019年)	1.9	低下	達成
乳幼児死亡率（乳幼児人口10万対）	44.7	40.6 (2019年)	47.2	低下	達成
小児科医師数（小児人口1万対）	12.1人	12.0人 (2018年)	10.3人	12人以上	達成
小児に対応している訪問看護ステーション数（小児人口10万対）	0.7施設	39.5施設 (2020年)	2.3施設	全国平均	達成
休日夜間小児急患センターが整備された医療圏数	4医療圏	4医療圏 (2021年)	—	現状維持	達成
24時間365日対応可能な小児救急が整備された医療圏数	4医療圏	4医療圏 (2021年)	—	現状維持	達成
時間外外来受診回数（小児人口10万対）	11,996件	36,478件 (2019年)	16,817件	全国以下を維持しつつ低下	後退
第二次・第三次小児救急病院の救急外来受診者の中で入院が必要でなかった割合	83.4%	84.3% (2017年)	—	低下	後退

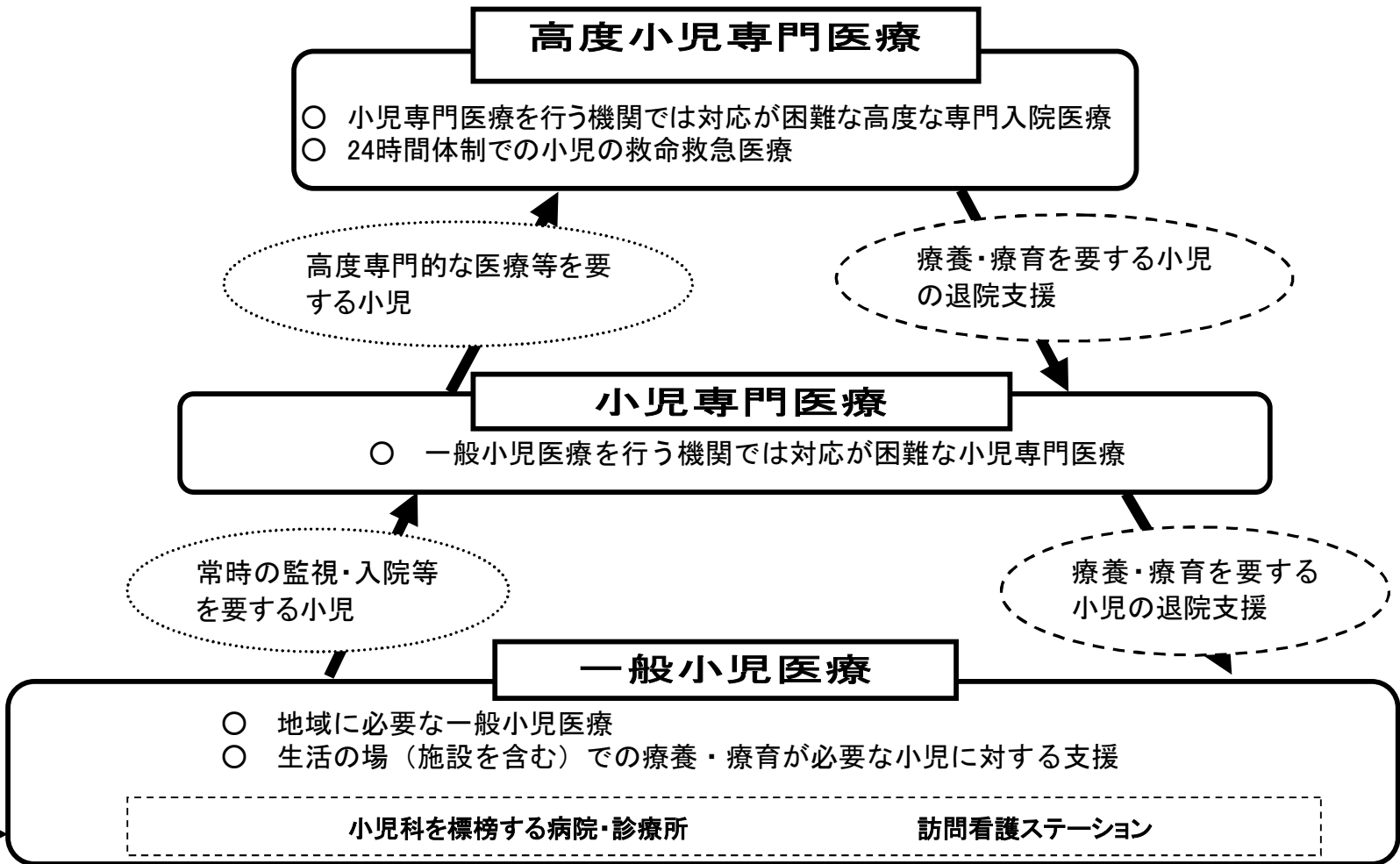
<数値目標の評価>

- 乳児死亡率（出生千対）、乳幼児死亡率（乳幼児人口10万対）は低下しており、目標に達しています。
- 小児科医師数（小児人口1万対）は目標に達しています。
- 小児に対応している訪問看護ステーション数（小児人口10万対）は目標に達しています。
- 休日夜間小児急患センターが整備された医療圏数は4医療圏で、現状を維持しており、目標に達しています。
- 24時間365日対応可能な小児救急が整備された医療圏数は4医療圏で、現状を維持しており、目標に達しています。
- 時間外外来受診回数（小児人口10万対）は増加しており、後退しています。
- 第二次・第三次小児救急病院の救急外来受診者の中で入院が必要でなかった割合は上昇しており、後退しています。

第3節 小児医療の提供体制

医療機能

10

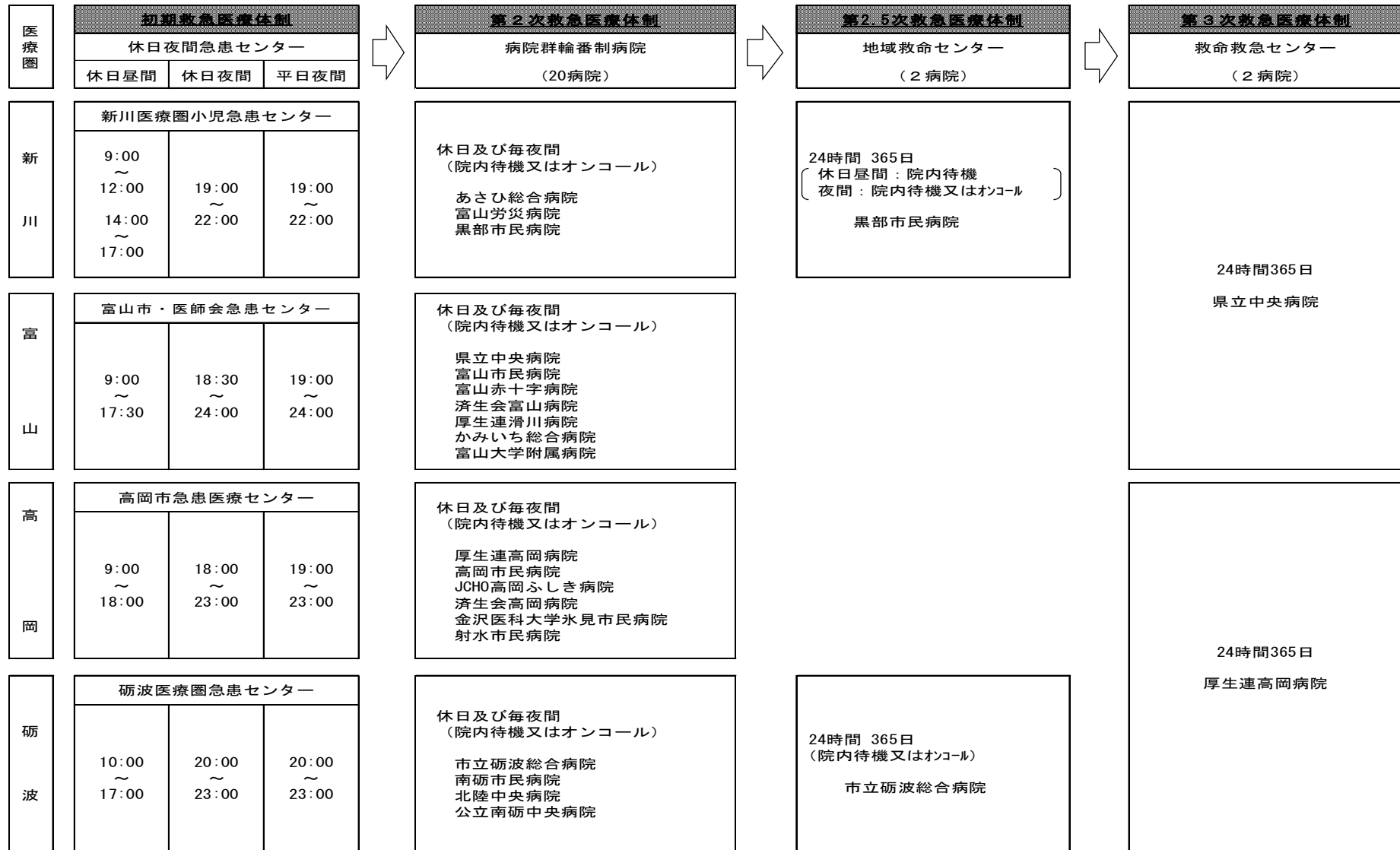


健康相談等の支援（子ども医療電話相談「#8000」、市町村・厚生センター(保健所)の健康相談、子育てほっとラインなど）

時間の流れ

富山県における小児救急医療体制図

2021（令和3）年4月現在



※病院群輪番制病院月別実施表に記載のある病院を記載

第4節 現状把握のための指標

指標名及び指標の説明	策定時	現状	出典等
乳児死亡率（出生千対）	1.5	1.2 (2019年)	厚生労働省「人口動態調査」 (2019年)
乳幼児死亡率（乳幼児人口10万対）	44.7	40.6 (2019年)	厚生労働省「人口動態調査」 (2019年)
小児死亡率（小児人口10万対）	23.3	17.8 (2019年)	厚生労働省「人口動態調査」 (2019年)
小児科医師数（小児人口1万対）	12.1人	12.0人 (2018年)	厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」(2018年)
小児に対応している訪問看護ステーション数（小児人口10万対）	0.7施設	39.5施設 (2020年)	高齢福祉課調べ (2020年)
休日夜間小児急患センターが整備された医療圏数	4医療圏	4医療圏 (2021年)	県医務課調べ (2021年)
24時間365日対応可能な小児救急が整備された医療圏数	4医療圏	4医療圏 (2021年)	県医務課調べ (2021年)
時間外外来受診回数（小児人口10万対）	11,996件	36,478件 (2019年)	NDB（2019年度）
第二次・第三次小児救急病院の救急外来受診者の中で入院が必要でなかった割合	83.4%	84.3% (2017年)	県医務課調べ (2017年度)
子ども医療電話相談の件数（小児人口10万対）	4,568.4件	5,293.3件 (2020年)	県医務課調べ (2021年)
小児集中治療管理室(PICU)を有する医療機関数	0	0	医療施設調査（2017年）

NDB：厚生労働省レセプト情報・特定健診等情報データベース（ナショナルデータベース）

第5章 今後目指すべき取組事項

令和3年6月に「富山県小児医療等提供体制検討会」を立ち上げ、その下に「小児医療全般」と「こころの問題」の2つのワーキンググループを設置し、本県の小児医療提供体制のあり方を検討しました。

次世代を担う子ども達の命と健康を守るため、これまで取り組んできた「小児科医師等」「小児救急」「小児専門医療・小児高度専門医療」の3つの課題に、「在宅医療（医療的ケア児）」「こころの問題」「相談支援・情報提供」を加えた6つの課題への対応に取り組みます。

それぞれの課題ごとに「基本的な方向性・当面の対応」「長期的な課題・引き続き検討していく事項」を、以下のとおりまとめ、県、県医師会、郡市医師会、各医療機関、関係団体が連携して取組を進めます。

[1. 小児科医師等]

(1) 基本的な方向性・当面の対応

- 日中・通常の診療は、主に地域における小児科及び小児科を標榜する内科において行います。
- 医療圏ごとの医師会に学校医、予防接種、急患センターへの医師派遣の協力を引き続き要請します。
- 引き続き、富山大学や金沢大学へ特別枠で入学した¹²医学生等への修学資金の貸与などを通じ、小児科医師の養成・確保に努めます。
- 引き続き、医師が働きやすい勤務環境の整備を支援します。また、育児等のため休業中あるいは退職した女性医師の職場復帰を支援します。

(2) 長期的な課題・引き続き検討していく事項

- 少子化、国が主導する働き方改革等も踏まえた人材の確保について検討する必要があります。
 - ・ 富山大学における小児科医・総合診療医等の育成の継続
 - ・ 総合診療医の小児科医療への参入促進
 - ・ 医療機関ごとの役割分担と連携の促進

[2. 小児救急]

(1) 基本的な方向性・当面の対応

- 富山大学、公的病院、医師会等が協力し、4医療圏ごとに休日夜間小児急患センターの運営を維持します。

¹² 国の緊急医師確保対策及び骨太方針2009によって特別に認められた富山大学医学部医学科及び金沢大学医薬保健学域医学類の入学定員の増員分に係る入学定員枠。特別枠の医学生には、県が指定する公的病院の診療科(小児科、外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、小児外科、産科、麻酔科、救急科、総合診療科)に勤務することを返還免除要件とした修学資金が貸与される(富山大学特別枠定員：平成21年5名、平成22年～10名。金沢大学特別枠定員：平成22年～2名)。

・富山医療圏では令和3年4月から休日夜間小児急患センターの開設時間を見直しています。

- 各医療圏において二次輪番体制を維持します。
- 勤務した医師が翌日に十分休める体制づくりに取り組みます。
- 引き続き、子ども医療電話相談（#8000）を行います。
- 引き続き、「小児救急医療ガイドブック」の活用など、小児救急の適正受診について普及啓発に努めます。
- 引き続き、市町村等が実施する小児健診等の保健事業と連携し、疾病予防や事故予防、各種相談窓口、小児医療の適正受診等に係る普及啓発を行います。

（2）長期的な課題・引き続き検討していく事項

- 持続可能な救急医療体制を検討していく必要があります。
 - ・ 4医療圏ごとの体制を引き続き維持
 - ・ 患者の利便性や少子化、医療従事者の働き方改革の観点等も踏まえ検討
 - ・ 二次輪番病院への負担軽減を図るため、将来的なオンライン診療の可能性も含め検討

[3. 小児専門医療・小児高度専門医療]

（1）基本的な方向性・当面の対応

- 県立中央病院、富山大学附属病院、厚生連高岡病院を中心としたネットワークの維持・強化を図ります。
 - ・ 県立中央病院や富山大学附属病院において、NICUでの高度な新生児医療、小児心疾患や小児がんなどの高度小児専門医療の充実に努めます。
 - ・ 小児科を標榜する病院、診療所とがん診療連携拠点病院、難病医療拠点病院、高度小児専門医療機関との連携の充実・強化を図ります。
 - ・ 富大附属病院において病院内に「こども医療センター」（仮称）を設置し、専門分野の見える化を行います。

（2）長期的な課題・引き続き検討していく事項

- 各医療機関の得意分野の伸長や役割分担を推進するとともに、データも活用しながら県民への見える化を図ることが重要です。
 - (例)「富山県高度医療ネットワーク」の形成
 - ・ 県立中央病院：小児救命救急、小児外科
 - ・ 富山大学附属病院：悪性**新生物**、心疾患
 - ・ 厚生連高岡病院：県西部の周産期医療 等

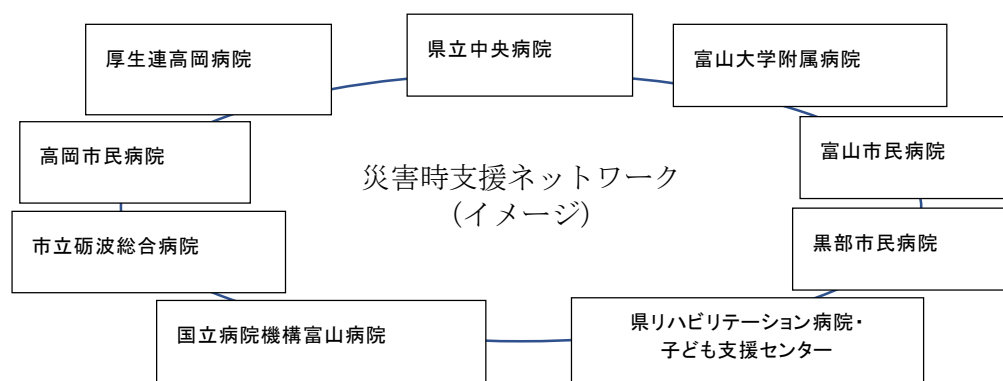
[4. 在宅医療（医療的ケア児）]

（1）基本的な方向性・当面の対応

① **病状悪化時、災害時の対応**

- 児の急変時は、県立中央病院、富山大学附属病院、厚生連高岡病院が中心となって救急対応を行います。

- 県立中央病院に常時完全看護ができる病床を確保します。
- 災害時に備えた体制の整備を進めます。
 - ・ 県立中央病院を中心に災害時支援ネットワークを形成します。
 - ・ ME I S（医療的ケア児等医療情報共有システム）¹³の活用を促進します。
 - ・ 医療機関が人工呼吸器装着児等に貸し出す非常用電源の整備を支援します。



② 平時の対応

- 在宅療養支援のため、訪問診療や訪問看護ステーションのさらなる充実強化を図ります。
- 引き続き小児在宅医療を担う人材の育成を支援します。
- 県リハビリテーション病院・子ども支援センター内の医療的ケア児等支援センターとの連携促進を図ります。

(2) 長期的な課題・引き続き検討していく事項

- 令和3年6月に成立した「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」¹⁴の理念を踏まえ、医療的ケア児及びその家族の生活を社会全体で支援することが重要であり、医療機関も一翼を担うことが求められています。
 - 子どもの面倒をみる家族のためのレスパイト入院のニーズがあり、医療機関としてできることを検討する必要があります。
- (例)・保護者が急変した時の児に対するレスパイトケアの提供(短期入所(空床型)など)

¹³ 医療的ケアが必要な児童等が救急時や予想外の災害、事故に遭遇した際に、全国の医師・医療機関（特に、救急医）が迅速に必要な患者情報を共有できるようにするためのシステム。医療的ケア児等は、原疾患や心身の状態が様々であり、遠方で緊急搬送等された際にも速やかに医療情報の共有を図る必要があることから、厚生労働省が令和2年7月から運用開始。

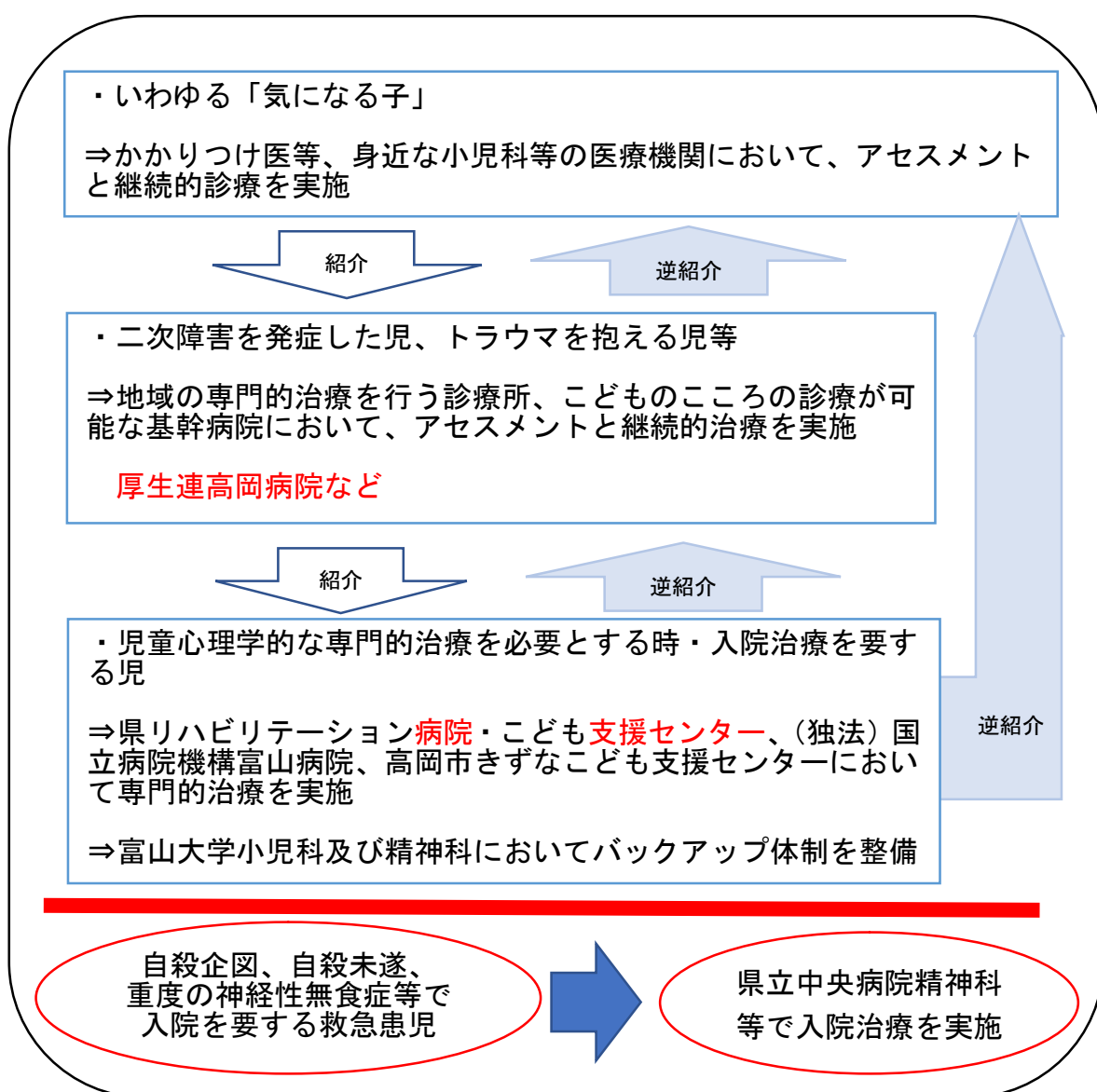
¹⁴ 医療技術の進歩に伴い医療的ケア児が増加する中、医療的ケア児の心身の状況等に応じた適切な支援を受けられるようにすることが重要な課題となっていることを背景に、医療的ケア児の健やかな成長を図るとともに、その家族の離職の防止に資すること、また、安心して子どもを生子、育てることができる社会の実現に寄与することを目的として成立。基本理念として、①医療的ケア児の日常生活・社会生活を社会全体で支援②個々の医療的ケア児の状況に応じ、切れ目なく行われる支援③医療的ケア児が医療的ケア児でない児童等と共に教育を受けられるように最大限に配慮しつつ適切に行われる教育に係る支援等④医療的ケア児でなくなった後にも配慮した支援⑤医療的ケア児と保護者の意思を最大限に尊重した施策⑥居住地域にかかわらず等しく適切な支援を受けられる施策を掲げている。

[5. こころの問題]

(1) 基本的な方向性・当面の対応

- 発達障害、いじめ、不登校、家庭問題、虐待、自殺未遂など、子どものこころを取り巻く環境は厳しくなっており、早期発見・早期治療に加え、こころのケアを継続的・安定的に提供するための取組みを進める必要があります。
- 発達障害、虐待によるトラウマなど、こころの問題に悩む子どもに対し、**県リハビリテーション病院・こども支援センター**など専門的機関と地域の医療機関が連携し、継続的に診療できるシステムを体系化し構築します。
- 入院を要する救急医療が必要な児については、**県立中央病院**を中心に治療を行います。

【診療システムのイメージ図】



- 学校等において、リーフレットを活用するなど、発達障害等こころの問題に対する正しい理解・正しい対応の普及啓発を行います。
- **県リハビリテーション病院・こども支援センター**における、子どものこころの診療体制

の充実を図ります。

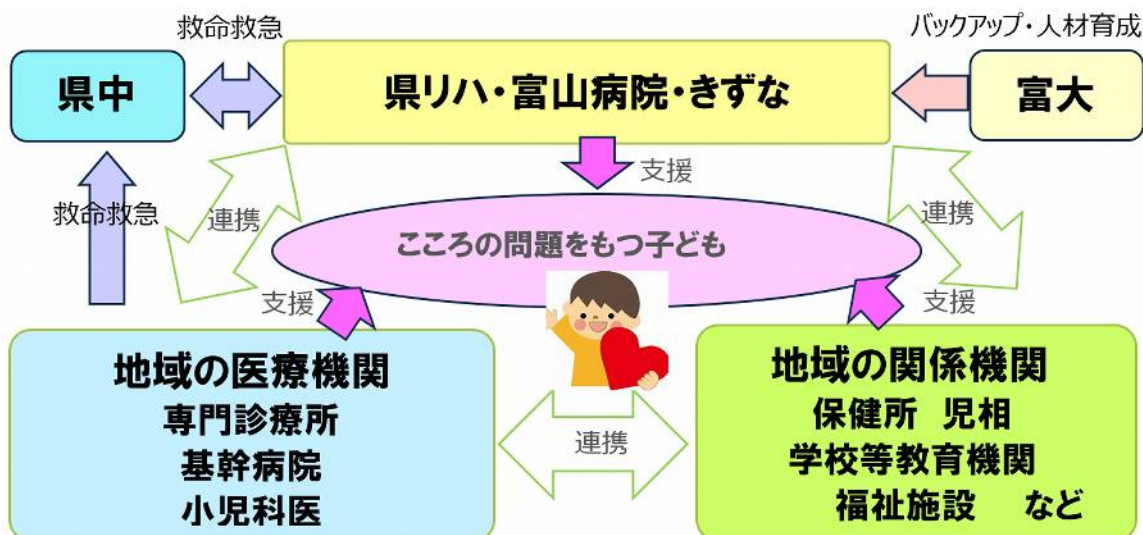
- 富山大学を中心とした、子どものこころの診療を専門とする児童精神科医や小児科医等の育成・確保を支援します。具体的には、**子どものこころの診療を専門とする小児科医・児童精神科医**の育成システムの構築を早期に開始します。
- 富山大学において、**子どものこころの医療に関わることができる公認心理師**の育成を行います。
- 県内に2カ所ある児童相談所における医療機能の強化を図ります。

【子どものこころの診療を専門とする小児科医・児童精神科医育成システムの役割例】

- ・ **子どものこころの診療を専門とする小児科医・児童精神科医**を育成するための研修カリキュラムの整備
- ・ 小児科医・精神科医を対象とした児童精神に係る研修マニュアルの整備及び研修会の実施
- ・ 地域の小児科医をはじめとするかかりつけ医等を対象とした「発達障害初期対応マニュアル」の整備
- ・ プライマリーケアに携わる医師等を対象とした研修会の実施
- ・ 専門医とプライマリーケアを担う小児科医等における共通の診療情報提供書及び症状評価シートの整備

(2) 長期的な課題・引き続き検討していく事項

- 引き続き、子どものこころの診療を担う医療機関の診療体制を構築します。
- 発達障害等の症状に応じた、段階的な診療体制の整備を行います。
- 子どものこころの診療を担う児童精神科医等の育成状況を踏まえ、小児ユニット等入院治療体制の構築を検討します。
- 医療機関、児童相談所など専門機関とともに、学校、民間支援団体、そして県民が一体となって、子どものこころを支える体制を充実します。特に、医療機関と児童相談所及び学校等との連携体制を強化していきます。



[6. 相談支援・情報提供]

(1) 基本的な方向性・当面の対応

- 引き続き、相談支援・情報提供機能の充実・周知を行います。
 - ・休日・夜間における小児の症状等に関する保護者等の不安解消のため、子ども医療電話相談（#8000）など相談支援を継続します。
 - ・電話相談では正確に子どもの状況が分からないこともあるため、専門医が身近に相談できる支援体制を整備（オンラインや画像を活用した「顔の見える」相談支援を実施）します。
 - ・県で提供している医療情報ガイド¹⁵について、厚生労働省で進める全国統一化（令和6年度の予定）の方針を踏まえ対応します。

(2) 長期的な課題・引き続き検討していく事項

- 将来的に、休日・夜間におけるオンライン診療システムの導入について、可能性を検討していきます。

[7. その他]

(1) 基本的な方向性・当面の対応

- 引き続き、小児医療に関する情報交換・協議の場として「富山県小児医療等提供体制検討会」を継続して設置します。
 - ・医療計画に係る「疾病・事業及び在宅医療に係る医療体制構築に係る指針」に基づき、小児医療の提供体制を整備・推進する上で重要な関係を有する専門家を構成員として、小児医療に関する協議の場を設置。

(2) 長期的な課題・引き続き検討していく事項

- 「富山県小児医療等提供体制検討会」の検討状況を踏まえ、第8次医療計画を策定し、小児医療のさらなる充実に向けて各種施策を展開していきます。

¹⁵ 病院等に対し、医療を受ける者が病院等の選択を適切に行うために必要な情報（医療機能情報）について、都道府県への報告を義務付け、都道府県がその情報を集約し、わかりやすく提供する制度

付 属 資 料

年齢3区分別人口の推移（富山県）

（単位：人）

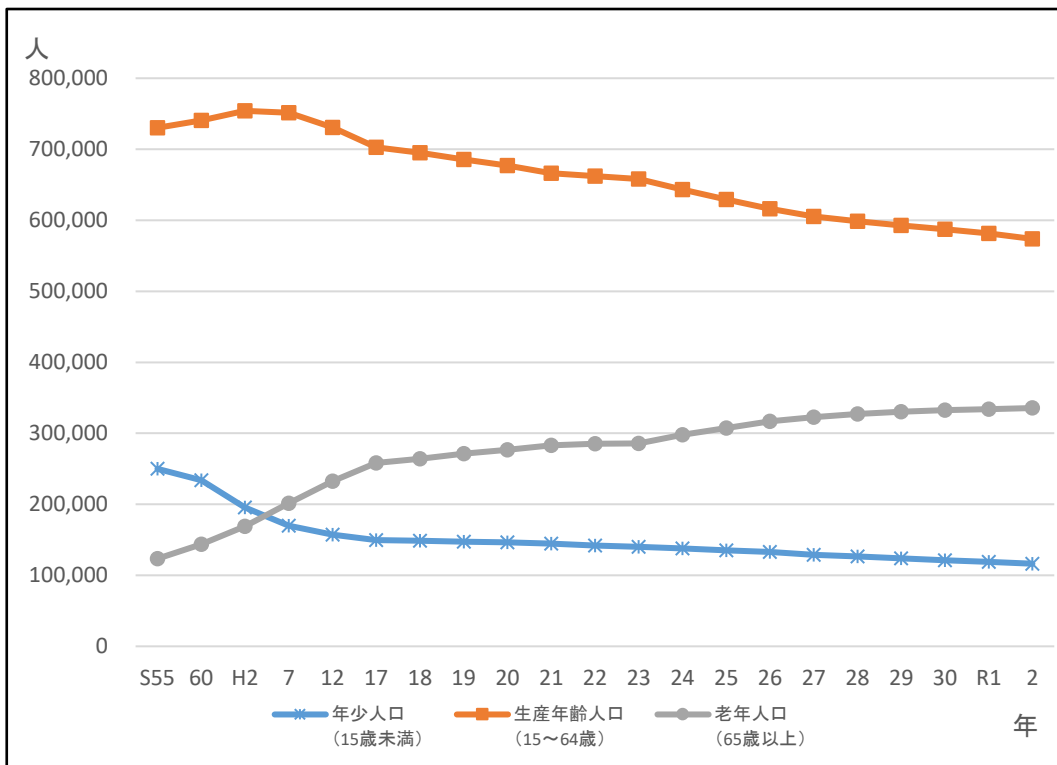
年	総人口	年少人口 (15歳未満)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)	
S55	1980	1,103,459	249,935	730,099	123,407
60	1985	1,118,369	233,965	740,728	143,646
H2	1990	1,120,161	195,598	754,081	168,946
7	1995	1,123,125	170,045	751,639	201,320
12	2000	1,120,851	157,179	730,541	232,733
17	2005	1,111,729	149,545	702,924	258,317
18	2006	1,109,205	148,724	695,259	264,279
19	2007	1,105,312	147,416	685,487	271,466
20	2008	1,101,292	146,383	677,158	276,808
21	2009	1,095,217	144,753	666,251	283,270
22	2010	1,093,247	141,936	662,072	285,102
23	2011	1,088,409	140,079	658,247	285,946
24	2012	1,082,763	137,721	643,043	297,862
25	2013	1,076,158	135,271	629,168	307,582
26	2014	1,070,070	132,886	616,124	316,923
27	2015	1,066,328	128,848	605,545	322,899
28	2016	1,061,393	126,393	598,740	327,224
29	2017	1,055,893	123,690	592,717	330,450
30	2018	1,050,246	121,378	587,213	332,619
R1	2019	1,042,998	118,798	581,388	333,776
2	2020	1,034,670	116,349	573,719	335,566

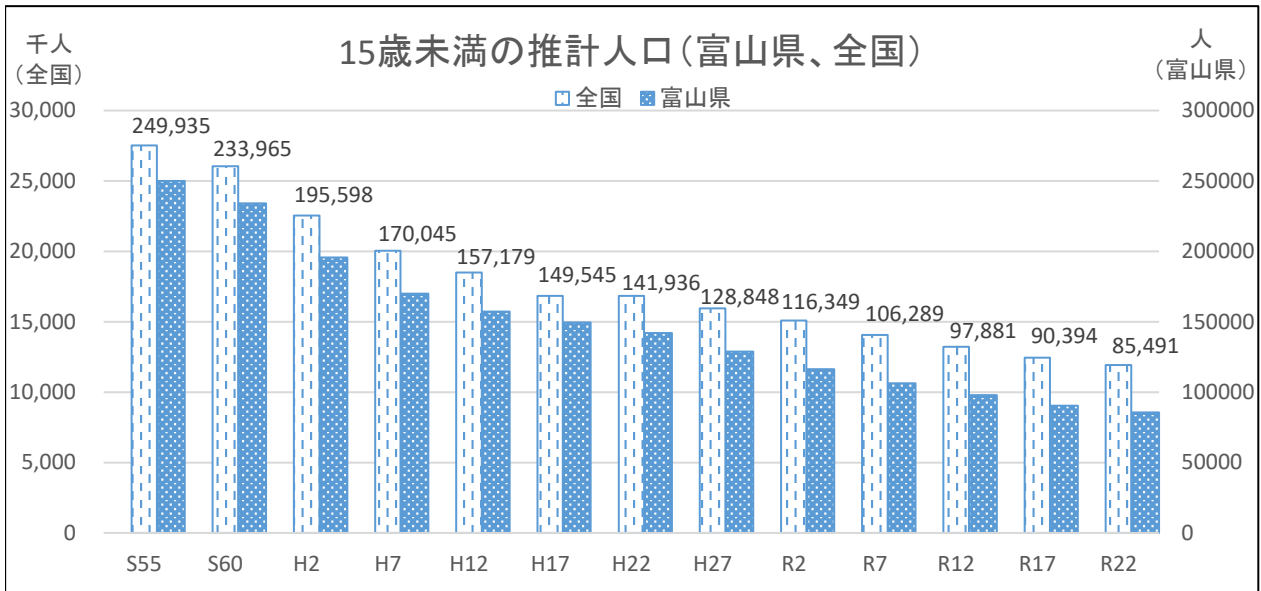
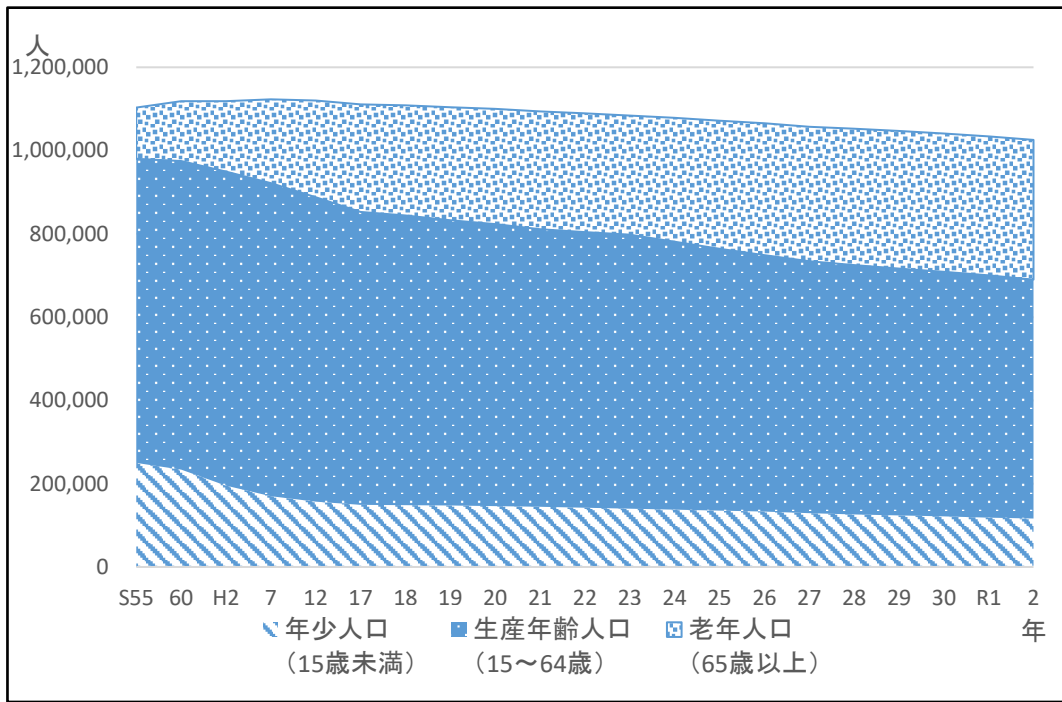
R2医療圏別
 新川 12,058
 富山 57,657
 高岡 32,813
 砺波 13,821

出典：令和2年富山県の人口（富山県統計調査課）

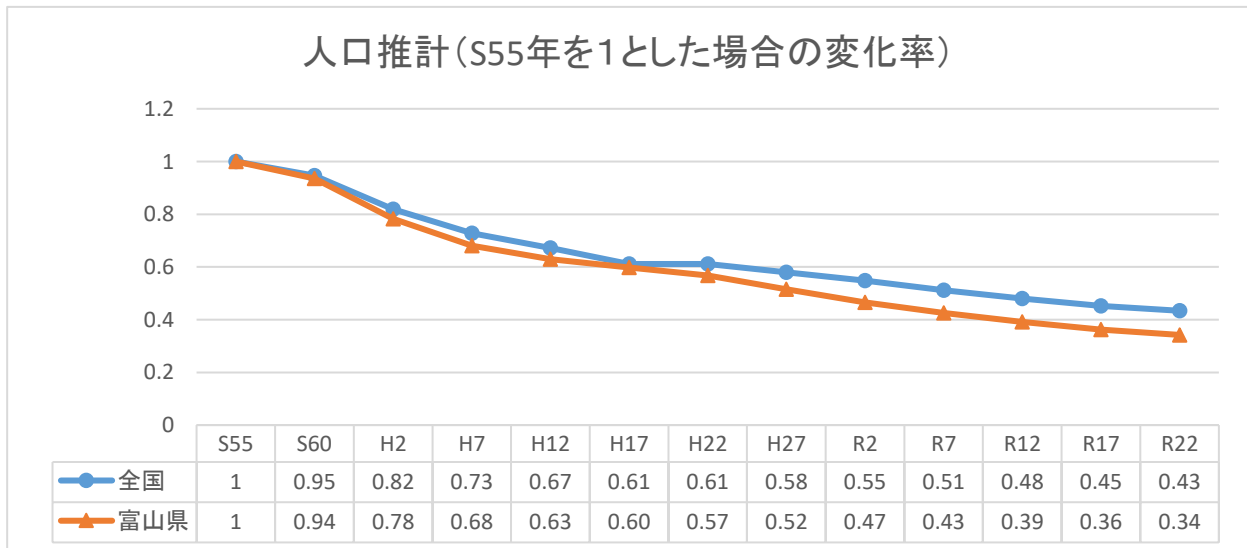
※各年10月1日現在。昭和55年から平成7年及び平成12年、17年、22年、27年は国勢調査、それ以外は富山県人口移動調査による。総数は年齢不詳を含む。

※年齢3区分別人口は、年齢不詳を含まないため、年齢3区分別人口の和は総数に一致しない。





出典：社会保障・人口問題研究所 将来人口推計
総務省 人口推計



15歳未満の入院・外来患者数(全国・富山県)

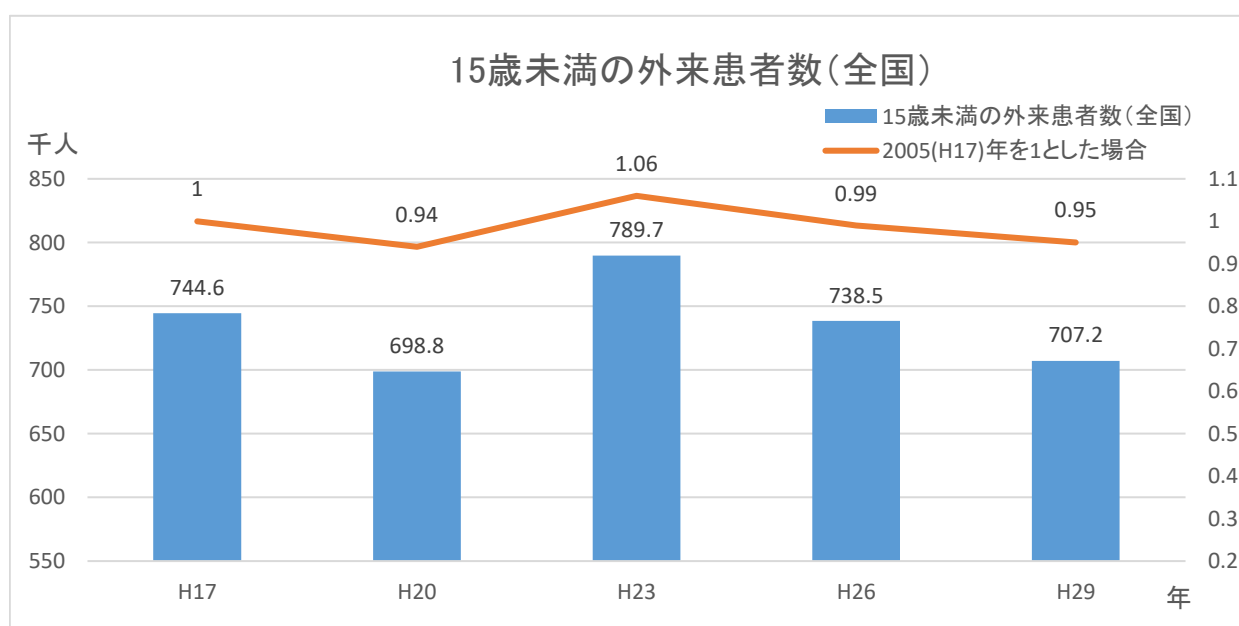
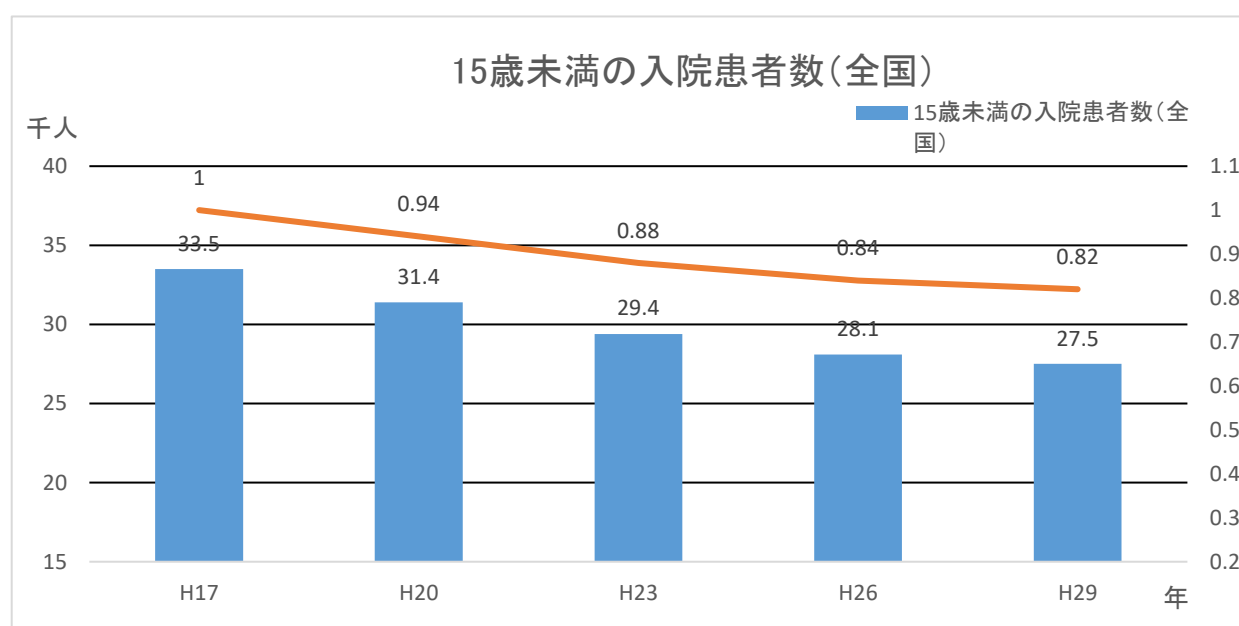
(単位:千人)

		H17	H20	H23	H26	H29
入院	全国	33.5	31.4	29.4	28.1	27.5
	2005年(H17)を「1」とした場合の指数	1	0.94	0.88	0.84	0.82
	富山県	0.3	0.2	0.2	0.2	0.3
	2005年(H17)を「1」とした場合の指数	-	-	-	-	-
外来	全国	744.6	698.8	789.7	738.5	707.2
	2005年(H17)を「1」とした場合の指数	1	0.94	1.06	0.99	0.95
	富山県	5.9	5.4	6.4	5.4	4.8
	2005年(H17)を「1」とした場合の指数	1	0.92	1.08	0.92	0.81

※都道府県別に層化無作為抽出された医療施設における1日の患者数

出典:厚生労働省 患者調査

※入院の富山県の指数は単位数が小さいため、算出していません。



※本県の15歳未満外来患者数は、H17を1とするとH29は0.81であり、約2割減となっている。

(単位:人)

小児科医師数の推移(富山県)

※主たる従業地、主たる診療科で算出

	富山県	新川	富山	高岡	砺波
H20	150	9	92	40	9
H22	158	8	99	42	9
H24	152	7	96	39	10
H26	161	8	103	39	11
H28	162	8	103	39	12
H30	147	8	90	38	11

出典:厚生労働省 医師・歯科医師・薬剤師統計(H30)
厚生労働省 医師・歯科医師・薬剤師調査(H20~H28)

医療圏別・医療施設従事医師数及び小児科医師数(平成30年12月31日現在)

	医療施設従事医師数		小児科	
	医師数(人)	人口10万人対	医師数(人)	人口10万人対
富山県	2,671	254.4	147	14.0
新川	245	207.1	8	6.8
富山	1,509	302.6	90	18.0
高岡	639	208.7	38	12.4
砺波	278	219.0	11	8.7
全国	311,963	246.7	17,321	13.7

出典:厚生労働省 医師・歯科医師・薬剤師統計

※医療圏別小児科医師数人口10万対は医務課で算出

富山県内医療圏別小児科関係標榜病院・診療所一覧

医療圏	施設	機関略称	所在地	診療科目名称	
新川	病院	黒部市民病院	黒部市 三日市1108番地1	小児科	
		富山労災病院	魚津市 六郎丸992	小児科	
		あさひ総合病院	朝日町 泊477番地	小児科	
		坂東病院	朝日町 道下900	小児科	
	診療所	新川医療圏小児急患センター	黒部市 三日市1108番地1	小児科	
		しのざき小児科	黒部市 三日市1062	小児科	
		桃井医院	黒部市 釈迦堂907	小児科	
		藤が丘クリニック	黒部市 生地中区104-3	小児科 小児外科	
		医)吉島内科クリニック	魚津市 吉島750-2	小児科	
		大崎クリニック	魚津市 寿町4-5	小児科	
		キッズベアー診療所	魚津市 本江3354	小児科	
		ありそクリニック	魚津市 北鬼江1-5-25	小児科	
		いなば小児科医院	魚津市 本新町21-2	小児科	
		大崎医院	魚津市 北鬼江2-12-26	小児科	
		宮本内科小児科医院	魚津市 新角川1-7-22	小児科	
		榊崎クリニック	魚津市 北鬼江2-20-26	小児科	
		船崎内科小児科医院	魚津市 本町1丁目3-18	小児科	
		野島医院	入善町 舟見2693-2	小児科	
		川瀬医院	入善町 東狐1031	小児科	
		米澤医院	入善町 入膳7019-12	小児科	
嶋田医院	入善町 高島269	小児科			
富山	病院	富山県立中央病院	富山市 西長江2-2-78	小児科 小児外科	
		富山大学附属病院	富山市 杉谷2630番地	小児科 小児外科	
		富山赤十字病院	富山市 牛島本町2-1-58	小児科	
		富山市民病院	富山市 今泉北部町2-1	小児科	
		済生会富山病院	富山市 楠木33番地1	小児科	
		富山県リハビリテーション病院・こども支援センター	富山市 下飯野36番	小児科	
		NHO富山病院	富山市 婦中町新町3145番地	小児科	
		富山西総合病院	富山市 婦中町下轡田1019番地	小児科	
		八尾総合病院	富山市 八尾町福島7-42	小児科	
		島田病院	富山市 下新北町6-52	小児科	
		栗山病院	富山市 開発133番地	小児科	
		あゆみの郷	富山市 稲代1023	小児科	
		厚生連滑川病院	滑川市 常盤町119	小児科	
		かみいち総合病院	上市町 法音寺51	小児科	
		診療所	螢川クリニック	富山市 婦中町板倉266-1	小児科
			くまのクリニック	富山市 悪王寺41-1	小児科
			草島内科クリニック	富山市 草島216-22	小児科
			岡田産科婦人科	富山市 古鍛冶町5-34	小児科
			種井内科胃腸科クリニック	富山市 清水町5丁目7-16	小児科
			高橋医院	富山市 本郷町196	小児科
	江本医院		富山市 八尾町東町2199-1	小児科	
	内科小児科中田医院		富山市 婦中町分田254	小児科	
	中島こどもクリニック		富山市 中島3-3-57	小児科	
	岩城内科医院		富山市 茶屋町85-2	小児科	
	馬瀬小児科医院		富山市 町村156-6	小児科	
	城石内科クリニック		富山市 桜町2-1-10 陽光堂ビル4F	小児科	
	こども矯正歯科ファボーレ前クリニック		富山市 婦中町下坂倉90-3	小児科	
	吉山医院		富山市 下大久保1055-7	小児科	
	くぼ小児科クリニック		富山市 上二杉420-1	小児科	
	家城産婦人科医院		富山市 花園町1-3-3	小児科	
	橋本医院		富山市 月岡町4丁目695	小児科	
	野田内科医院		富山市 水橋開発1番地	小児科	
	医療法人社団八木小児科医院		富山市 奥田寿町7-14	小児科	
	はやしこどもクリニック		富山市 経堂2丁目17	小児科	
	島田医院		富山市 永楽町41番22号	小児科	
	藤澤医院		富山市 八尾町福島204	小児科	
	萩野医院		富山市 八尾町福島4丁目151番地	小児外科	
	本定内科クリニック		富山市 藤木1962-2	小児科	
	まきのクリニック		富山市 本郷町5区130-10	小児科	
	谷野岩瀬医院		富山市 岩瀬大町3	小児科	
	岡部こども医院		富山市 二口町1-12-7	小児科	
	ファボーレこどもクリニック		富山市 婦中町下轡田165-1ファボーレ2階	小児科	
	吉田内科クリニック		富山市 吉作355	小児科	
	嶋尾こどもクリニック		富山市 北代5293	小児科	
	佐伯クリニック		富山市 栃谷200-2	小児科	
	高重記念クリニック		富山市 元町2-3-20	小児科	
	富山市・医師会急患センター		富山市 今泉北部町2-76	小児科	
	石金内科医院		富山市 西長江4-8-30	小児科	
	泉小児科		富山市 下堀93-1	小児科	
	さいだ小児科		富山市 豊若町1丁目12-12	小児科	
	越村医院		富山市 若竹町3丁目63番地	小児科	
	前川クリニック		富山市 石坂2026番地1	小児科	
	しんたにこどもクリニック		富山市 長江新町2-2-38	小児科	
	上飯野小児科クリニック		富山市 上飯野13-17	小児科	
	のがみこどもクリニック		富山市 婦中町下轡田666-1	小児科	
	しんめいこどもクリニック		富山市 高田90-2	小児科 小児外科	
	むらかみ小児科アレルギークリニック		富山市 上飯野32-10	小児科	
	寺林医院		富山市 町村1丁目105	小児科	
	林医院		富山市 岩瀬新川町1区 273	小児科	
	川崎内科医院		富山市 月岡東緑町3-1	小児科	
	すぎき子ども医院		富山市 婦中町砂子田38-6	小児科	
	たかたこども医院		富山市 上袋56-3	小児科	
	ふたごぼしキッズクリニック		富山市 堀川本郷15-12	小児科	
	岩城小児科医院		滑川市 下小泉町342	小児科	
	おのうえこどもクリニック		滑川市 柳原26-8	小児科	
	植野耳鼻科		立山町 前沢2710-36	小児科	
	かとうこどもクリニック		立山町 大石原187	小児科	
	酒井医院		上市町 広野494	小児科	
	中村内科クリニック		上市町 上経田2丁目5番地	小児科	

富山県内医療圏別小児科関係標榜病院・診療所一覧

高岡	病院	厚生連高岡病院	高岡市	永楽町5番10号	小児科			
		高岡市民病院	高岡市	宝町4番1号	小児科			
		JCHO高岡ふしき病院	高岡市	伏木古府元町8-5	小児科			
		済生会高岡病院	高岡市	二塚387-1	小児科			
		姫野病院	射水市	放生津町15-4	小児科			
		真生会富山病院	射水市	下若89-10	小児科			
		射水市民病院	射水市	朴木20	小児科			
	診療所	金沢医科大学氷見市民病院	氷見市	鞍川1130番地	小児科			
		高岡市急患医療センター	高岡市	本丸町7番1号	小児科			
		小栗小児科	高岡市	野村869	小児科			
		島田医院	高岡市	昭和町3-3-15	小児科			
		うえせこどもクリニック	高岡市	能町南2丁目78番	小児科			
		駅南五十嵐内科	高岡市	駅南3-9-14	小児科			
		清水小児科医院	高岡市	白金町5-30	小児科			
		さのクリニック	高岡市	佐野919-3	小児科			
		よろずクリニック	高岡市	戸出伊勢領2466-2	小児科			
		越野クリニック	高岡市	下牧野264-1	小児科			
		井川クリニック	高岡市	大坪町1-2-3	小児科			
		杉森クリニック	高岡市	上四屋3-8	小児科			
		わだ小児科クリニック	高岡市	広小路6-1 広小路ビル1階	小児科			
		成美こどもクリニック	高岡市	京町2-7	小児科			
		トモエクリニック	高岡市	福岡町下藁新281	小児科			
		久賀内科クリニック	高岡市	伏木古府3-2-8	小児科			
		赤祖父どいクリニック	高岡市	赤祖父593-1	小児科			
		福澤医院	高岡市	立野美鳥町1-116	小児科			
		高岡駅南クリニック	高岡市	駅南3-1-8	小児科	小児外科		
		吉田内科小児科	高岡市	木町1	小児科			
		半田内科医院	高岡市	野村1034-1	小児科			
		新沢小児科医院	高岡市	川原町1-14	小児科			
		旭ヶ丘内科クリニック	高岡市	江尻46-13	小児科			
		きずな	高岡市	江尻279	小児科			
		しむら小児科クリニック	高岡市	佐野866-2	小児科			
		齊藤クリニック	高岡市	野村799	小児科	小児外科		
		章仁会 高島小児科クリニック	射水市	戸破2596-1	小児科			
		中新湊内科クリニック	射水市	中新湊7-19	小児科			
		皆川医院	射水市	海老江232	小児科			
		とよた小児科クリニック	射水市	小島730-2	小児科			
		木田小児科医院	射水市	東太閤山3-87	小児科			
		宮林クリニック	射水市	本町3-12-28 カモンシムナトショッピングセンター3F	小児科			
		梅崎クリニック	射水市	海老江1242-1	小児科			
		松本医院	射水市	三ヶ3268	小児科			
		おおしまこどもクリニック	射水市	戸破1382-1	小児科			
		ふちざわ子どもクリニック	氷見市	加納484-1	小児科			
		山岸小児科	氷見市	朝日本町2-5	小児科			
		砺波	病院	市立砺波総合病院	砺波市	新富町1番61号	小児科	
				南砺市民病院	南砺市	井波938番地	小児科	小児外科
公立南砺中央病院	南砺市			梅野2007番地5	小児科			
太田病院	小矢部市			新富町3-11	小児科			
北陸中央病院	小矢部市			野寺123	小児科			
診療所	砺波医療圏急患センター		砺波市	新富町1-61	小児科			
	山本内科医院		砺波市	出町中央6-14	小児科			
	柳下小児科内科医院		砺波市	中神3-1	小児科			
	金井医院		砺波市	深江1-210	小児科			
	住田小児科医院		砺波市	となみ町13-16	小児科			
	柳澤医院		砺波市	深江1丁目174番地	小児科			
	ふくみつこども診療所		南砺市	福光栄町956-5	小児科			
	石黒医院		南砺市	福光1009-3	小児科			
	南砺家庭・地域医療センター		南砺市	松原577	小児科			
	沼田医院		小矢部市	石動町8-36	小児科			
	大野クリニック		小矢部市	小矢部町1-1	小児科			
	青木内科医院		小矢部市	石動町1-4	小児科			

※令和3年6月8日に医療情報ガイドから抽出

県内 小児死亡数 年齢(5歳階級)・死因(死因分類)別 (H21～H30)

(0～4歳)	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	計
腸管感染症			1	1				1				3
敗血症	1	1	1		1	1	1				1	7
その他の感染症及び寄生虫症	1	1	2	1		1						6
悪性新生物<腫瘍>	1	3		3	1				1	1		10
その他の新生物<腫瘍>	1		1		1	1						4
その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1				1							2
その他の内分泌、栄養及び代謝疾患							1				1	2
髄膜炎								1				1
脊髄性筋萎縮症及び関連症候群									1	1		2
その他の神経系の疾患	1		2	1				1			1	6
心疾患(高血圧性を除く)	1	1	1	1	2						1	7
インフルエンザ		1						1				2
肺炎		1				2	1					4
急性気管支炎			1									1
その他の呼吸器系の疾患				1			1	2			1	5
筋骨格系及び結合織の疾患						1						1
腎不全	1											1
妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	1	1			1							3
周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	3	4	2	1	3	1	3	4	2	1	3	27
周産期の特異的な感染症		1								1	1	3
胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	3				1			1		1	1	7
その他の周産期に発生した病態		1		2		1		1	1			6
神経系の先天奇形	1	1		1		2	1	1			1	8
循環器系の先天奇形	5	8	6	4	4	5	5	3	1			41
消化器系の先天奇形		1			1	1						3
その他の先天奇形及び変形	2	1	3	3	3	3		4		2		21
染色体異常、他に分類されないもの	1	1	2	3	3	3	1	2	1	1	2	20
乳幼児突然死症候群		1		1	1				1	1		5
その他の症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1	1	1	2			1			1	1	8
不慮の事故	2	3	2	4	1	2	2	1	2	3	1	23
他殺										1		1
合計	27	32	25	29	24	24	17	23	10	14	15	240

出典:人口動態調査(厚生労働省)

県内 小児死亡数 年齢(5歳階級)・死因(死因分類)別 (H21～H30)

(5～9歳)	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	計
腸管感染症			1									1
悪性新生物<腫瘍>	2			1	1	1	3	1		2	1	12
その他の新生物<腫瘍>		1					1					2
その他の内分泌、栄養及び代謝疾患									1			1
その他の神経系の疾患	1			1								2
心疾患(高血圧性を除く)			1						1			2
脳血管疾患		1									1	2
その他の呼吸器系の疾患	1											1
循環器系の先天奇形							1					1
その他の症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの											1	1
不慮の事故		2		3	1	1				1	2	10
合計	4	4	2	5	2	2	5	1	2	3	5	35

出典:人口動態調査(厚生労働省)

県内 小児死亡数 年齢(5歳階級)・死因(死因分類)別 (H21～H30)

(10～14歳)	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	計
腸管感染症			1									1
悪性新生物<腫瘍>	2					2	2	1	1	1		9
その他の新生物<腫瘍>	1											1
その他の神経系の疾患		1					1				1	3
心疾患(高血圧性を除く)		1										1
脳血管疾患			1		1							2
肺炎						1		1				2
その他の呼吸器系の疾患					1							1
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍		1										1
循環器系の先天奇形				1		1	1					3
染色体異常、他に分類されないもの	1											1
不慮の事故	1	1	3			1	1	1			1	9
自殺	1		2	1			3	1	3			11
他殺			1									1
その他の外因			1			1				1		3
合計	6	4	9	2	2	6	8	4	4	2	2	49

出典:人口動態調査(厚生労働省)

県内 小児死亡数 年齢(5歳階級)・死因(死因分類)別 (H21～H30)

(15～19歳)	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	計
敗血症	1			1								2
悪性新生物<腫瘍>	3		3	1	1	1	2	2		2		15
その他の新生物<腫瘍>		1			1							2
その他の神経系の疾患		1	1		1	1	2				1	7
高血圧性疾患									1			1
心疾患(高血圧性を除く)				1	1	1		2				5
脳血管疾患	1			1			1					3
その他の循環器系の疾患					1							1
その他の呼吸器系の疾患			1				1					2
その他の消化器系の疾患				1								1
循環器系の先天奇形						1						1
その他の先天奇形及び変形	1											1
その他の症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの									1			1
不慮の事故	7	2	3	3	2	1	4	3		3	1	29
自殺	7	3	4	3	3	6	3	2	6	6	4	47
他殺					1							1
合計	20	7	12	11	11	11	13	9	8	11	6	119

出典:人口動態調査(厚生労働省)

公的・公立病院における令和元年度年齢階級別退院患者数

(単位：人)

	0～9歳	10～19歳
県立中央病院	1,595	333
富山大学附属病院	980	415
厚生連高岡病院	723	214
黒部市民病院	724	194
富山赤十字病院	646	186
富山市民病院	232	189
済生会富山病院	133	37
高岡市民病院	382	102
済生会高岡病院	164	56
氷見市民病院	61	37
砺波総合病院	375	153
北陸中央病院	8	19
南砺市民病院	-	-

※平成31年4月1日～令和2年3月31日までの退院患者であり、一般病棟に1回以上入院した患者を対象に集計。(入院した後24時間以内に死亡した患者又は生後1週間以内に死亡した新生児は集計対象外。)

出典：各病院HPに掲載されているDPCデータによる病院指標

※DPC：Diagnosis Procedure Combination (診断・行為・組合せ)の略。医療の質の標準化を図ることを目的として全国の急性期病院を中心に導入が進められている制度。医師が決定した病名に基づき、入院患者の一連の医療行為を、国で定めた一日当たりの定額の点数から入院医療費を計算するもの。

DPCデータから全国統一の定義と形式に基づいた病院指標が各病院で作成・公開されている。

令和元年度診断群分類別患者数等(病院ごとに診療科別患者数上位5位まで)

病院名	診療科	DPC名称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢
				自院	全国		
国立中央病院	小児科	急性気管支炎、急性細気管支炎、下気道感染症(その他) 定義副傷病なし	231	5.05	6.19	0.43%	1.71
国立中央病院	小児科	妊娠期間短縮、低出生体重に関連する障害(出生時体重2500g以上) なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	66	6.39	6.17	13.64%	0
国立中央病院	小児科	ウイルス性腸炎 手術・処置等2なし	65	4.00	5.39	0.00%	5.06
国立中央病院	小児科	肺炎等(1歳以上15歳未満) なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	51	4.90	5.69	0.00%	2.59
国立中央病院	小児科	喘息 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	44	5.64	6.64	0	4.57
国立中央病院	小児科	鼠径ヘルニア(15歳未満) ヘルニア手術 鼠径ヘルニア等	107	3.12	2.81	0.00%	4.07
国立中央病院	小児科	停留精巣あり	33	3.09	3.13	0.00%	3.64
国立中央病院	小児科	虫垂炎 虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴わないもの等	15	5.20	5.45	0.00%	1.1
国立中央病院	小児科	閉塞、遠隔のない腫瘍のヘルニア ヘルニア手術 腹壁膿瘍ヘルニア等	13	2.77	8.05	0.00%	2.08
国立中央病院	小児科	先天性心疾患、先天性上部尿路疾患あり	58	3.47	4.18	0	9.41
富山大学附属病院	小児科	先天性心疾患(動脈管開存症、心房中隔欠損症を除く。)(1歳以上) 手術なし 手術・処置等1あり 手術・処置等2なし	50	1.38	2.48	0	10.1
富山大学附属病院	小児科	食物アレルギー 手術・処置等1なし	49	1.14	2.15	0	4.9
富山大学附属病院	小児科	食物アレルギー 手術・処置等1あり	33	6.67	6.17	6.06	0
富山大学附属病院	小児科	妊娠期間短縮、低出生体重に関連する障害(出生時体重2500g以上) 手術なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	31	3.71	5.87	0	6.97
富山大学附属病院	小児科	先天性心疾患(動脈管開存症、心房中隔欠損症を除く。)(1歳以上) 経皮的肺動脈形成術等 手術・処置等2なし	65	5.14	6.19	0	1.32
厚生連高岡病院	小児科	急性気管支炎、急性細気管支炎、下気道感染症(その他) 定義副傷病なし	59	4.41	5.73	0	1.85
厚生連高岡病院	小児科	インフルエンザ ウイルス性肺炎 手術・処置2なし	57	4.56	5.69	1.75	2.75
厚生連高岡病院	小児科	肺炎等(1歳以上15歳未満) 手術なし 手術・処置2なし 定義副傷病なし	57	3.93	7.10	0	4.4
厚生連高岡病院	小児科	てんかん 手術なし 手術・処置2なし 定義副傷病なし	55	3.07	5.39	1.82	5.31
厚生連高岡病院	小児科	ウイルス性腸炎 手術・処置2なし	141	3.58	6.17	0	0
黒部市民病院	小児科	妊娠期間短縮、低出生体重に関連する障害(出生時体重2500g以上) 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	71	4.37	6.19	0	2.18
黒部市民病院	小児科	急性気管支炎、急性細気管支炎、下気道感染症(その他) 副傷病なし	53	2.79	3.81	3.77	1.81
黒部市民病院	小児科	熱性けいれん 手術・処置等2なし	46	4.26	6.64	0	3.17
黒部市民病院	小児科	喘息 手術・処置等2なし 副傷病なし	30	3.57	5.39	0	5.2
黒部市民病院	小児科	ウイルス性腸炎 手術・処置等2なし	138	4.96	6.19	0	0.94
富山赤十字病院	小児科	急性気管支炎、急性細気管支炎、下気道感染症(その他) 定義副傷病なし	65	4.98	6.17	0	0
富山赤十字病院	小児科	妊娠期間短縮、低出生体重に関連する障害(出生時体重2500g以上) 手術なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	56	2.93	3.81	1.79	1.79
富山赤十字病院	小児科	熱性けいれん 手術・処置等2なし	47	3.40	5.39	0	3.38
富山赤十字病院	小児科	ウイルス性腸炎 手術・処置等2なし	42	4.86	5.69	0	4.05
富山赤十字病院	小児科	肺炎等(1歳以上15歳未満) 手術なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	51	3.96	6.19	0	1.18
富山赤十字病院	小児科	急性気管支炎、急性細気管支炎、下気道感染症(その他) 副傷病なし	24	4.08	5.69	0	3.75
富山赤十字病院	小児科	肺炎等(1歳以上15歳未満) 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	17	3.82	6.64	0	3.47
富山赤十字病院	小児科	喘息 手術・処置等2なし 副傷病なし	14	3.21	3.81	0	2.71
富山赤十字病院	小児科	熱性けいれん 手術・処置等2なし	13	2.54	9.13	0	6.31
富山赤十字病院	小児科	急性気管支炎、急性細気管支炎、下気道感染症(その他) 副傷病なし	43	2.72	6.19	18.6	1.58
富山赤十字病院	小児科	急性気管支炎、急性細気管支炎、下気道感染症(その他) 副傷病なし	18	2.94	5.39	5.56	4.5
富山赤十字病院	小児科	ウイルス性腸炎	8	2.75	4.94	12.5	1.63
富山赤十字病院	小児科	上気道炎	6	3.00	5.73	0	7.33
富山赤十字病院	小児科	インフルエンザ ウイルス性肺炎	5	3.20	5.69	0	5.8
富山赤十字病院	小児科	肺炎等(1歳以上15歳未満)	78	4.59	6.19	0	1.5
富山赤十字病院	小児科	急性気管支炎、急性細気管支炎、下気道感染症(その他) 副傷病なし	33	4.18	5.73	6.06	2.36
富山赤十字病院	小児科	インフルエンザ ウイルス性肺炎 手術・処置等2なし	27	4.59	5.69	0	3.89
富山赤十字病院	小児科	肺炎等(1歳以上15歳未満) 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	25	3.64	9.13	0	3.32
富山赤十字病院	小児科	体液量減少症	21	4.00	5.39	4.76	3.19
富山赤十字病院	小児科	ウイルス性腸炎 手術・処置等2なし	30	3.63	6.19	3.33	1.87
富山赤十字病院	小児科	急性気管支炎、急性細気管支炎、下気道感染症(その他) 副傷病なし	15	3.00	5.39	6.67	4.6
富山赤十字病院	小児科	食物アレルギー 手術・処置等1あり	13	1.00	2.15	0	2.85
富山赤十字病院	小児科	肺炎等(1歳以上15歳未満) 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	-	-	5.69	-	-
富山赤十字病院	小児科	体液量減少症	-	-	9.13	-	-
富山赤十字病院	小児科	ウイルス性腸炎 手術・処置等2なし	10	3.30	5.39	0	3
富山赤十字病院	小児科	急性気管支炎、急性細気管支炎、下気道感染症(その他) 副傷病なし	-	-	6.19	-	-
富山赤十字病院	小児科	上気道炎	-	-	4.94	-	-
富山赤十字病院	小児科	インフルエンザ ウイルス性肺炎 手術・処置等2なし	-	-	5.73	-	-
富山赤十字病院	小児科	てんかん 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	-	-	7.10	-	-
富山赤十字病院	小児科	急性気管支炎、急性細気管支炎、下気道感染症(その他) 副傷病なし	52	5.69	6.19	0	1.4
富山赤十字病院	小児科	肺炎等(1歳以上15歳未満) 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	32	5.38	5.69	0	2.44
富山赤十字病院	小児科	インフルエンザ ウイルス性肺炎 手術・処置等2なし	22	5.23	5.73	0	3.86
富山赤十字病院	小児科	インフルエンザ ウイルス性肺炎 手術・処置等2なし	21	4.57	5.39	0	4.71
富山赤十字病院	小児科	妊娠期間短縮、低出生体重に関連する障害(出生時体重2500g以上) 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	19	4.79	6.17	0	0
富山赤十字病院	小児科	肺炎等(0歳) 手術なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	-	-	6.15	-	-
富山赤十字病院	小児科	食道、胃、十二指腸、他腸の炎症(その他良性疾病) 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	-	-	7.42	-	-
富山赤十字病院	小児科	急性気管支炎、急性細気管支炎、下気道感染症(その他)	-	-	6.19	-	-
富山赤十字病院	小児科	上気道炎	-	-	4.94	-	-
富山赤十字病院	小児科	中耳・乳突突起の障害	-	-	4.64	-	-
富山赤十字病院	小児科	中耳・乳突突起の障害	-	-	5.44	-	-
富山赤十字病院	小児科	喘息	-	-	6.64	-	-

※10歳未満の数の場合は、- ハイファンを記入。

令和元年度診療科別主要手術別患者数等(病院ごとに診療科別患者数上位5位まで)

		名称	患者数	平均術前 日数	平均術後 日数	転院率	平均年齢
県立中央病院	小児科	新生児仮死蘇生術(仮死第1度)	26	0	40.42	7.69%	0
県立中央病院	小児科	腸重積症整復術(非観血的)	-	-	-	-	-
県立中央病院	小児科	鼓膜切開術	-	-	-	-	-
県立中央病院	小児科	気管切開術	-	-	-	-	-
県立中央病院	小児科	新生児仮死蘇生術(仮死第2度)	-	-	-	-	-
県立中央病院	小児外科	鼠径ヘルニア手術	112	1.01	1.11	0.00%	4.1
県立中央病院	小児外科	停留精巢固定術	32	0.97	1.09	0.00%	3.75
県立中央病院	小児外科	虫垂切除術(虫垂周囲膿瘍を伴わないもの)	15	0.13	4.07	0.00%	11
県立中央病院	小児外科	臍ヘルニア手術	12	0.75	1	0.00%	2.17
県立中央病院	小児外科	膀胱尿管逆流手術	-	-	-	-	-
富山大学附属病院	小児科	経皮的肺動脈形成術	32	1.63	2.56	0	4.91
富山大学附属病院	小児科	新生児仮死蘇生術(仮死第2度)	26	0	72.46	23.08	0
富山大学附属病院	小児科	新生児仮死蘇生術(仮死第1度)	22	0	25.14	9.09	0
富山大学附属病院	小児科	肺動脈絞扼術	-	-	-	-	-
富山大学附属病院	小児科	動脈管開存症手術(動脈管開存閉鎖術(直視下))	-	-	-	-	-
黒部市民病院	小児科	鼓膜切開術	30	1.17	2.63	0	1.03
黒部市民病院	小児科	リンパ節摘出術(長径3cm以上)	-	-	-	-	-
黒部市民病院	小児科	腸重積症整復術(非観血的なもの)	-	-	-	-	-
黒部市民病院	小児科	新生児仮死蘇生術(仮死第2度)	-	-	-	-	-
黒部市民病院	小児科						
富山赤十字病院	小児科	鼓膜切開術	-	-	-	-	-
富山赤十字病院	小児科	腸重積症整復術(非観血的)	-	-	-	-	-
富山赤十字病院	小児科	新生児仮死蘇生術(仮死第1度)	-	-	-	-	-
富山赤十字病院	小児科	-	-	-	-	-	-
富山赤十字病院	小児科	-	-	-	-	-	-
高岡市民病院	小児科	腸重積症整復術(非観血的なもの)	-	-	-	-	-
北陸中央病院	小児科	鼓膜切開術	-	-	-	-	-

※10未満の数値の場合は、-(ハイフン)を記入。

令和元年度富山県における
小児慢性特定疾病医療受給者証所持者数

令和元年度末現在

疾患群	所持者数
悪性新生物	138
慢性腎疾患	52
慢性呼吸器疾患	15
慢性心疾患	107
内分泌疾患	229
膠原病	25
糖尿病	71
先天性代謝異常	23
血液疾患	14
免疫疾患	6
神経・筋疾患	56
慢性消化器疾患	47
染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	9
皮膚疾患	-
骨系統疾患	10
脈管系疾患	3
計	805

出典：令和元年度衛生行政報告例

令和2年度富山県における
特定疾患に係る特定医療費（指定難病）受給者数

※19歳以下のみ抜粋

令和2年度末現在

疾患名	0～9歳	10～19歳	計
脊髄性筋萎縮症	0	2	2
重症筋無力症	0	3	3
多発性硬化症／視神経脊髄炎	0	3	3
慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	0	1	1
もやもや病	0	9	9
神経線維腫症	0	1	1
表皮水疱症	0	1	1
全身性エリテマトーデス	0	3	3
皮膚筋炎／多発性筋炎	0	2	2
ベーチェット病	0	1	1
再生不良性貧血	0	2	2
発作性夜間ヘモグロビン尿症	0	1	1
特発性血小板減少性紫斑病	0	2	2
IgA腎症	0	1	1
下垂体性ADH分泌異常症	0	1	1
下垂体性PRL分泌亢進症	0	1	1
下垂体前葉機能低下症	3	25	28
原発性硬化性胆管炎	0	1	1
クローン病	0	2	2
潰瘍性大腸炎	0	11	11
筋ジストロフィー	1	1	2
片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	1	0	1
複合カルボキシラーゼ欠損症	0	1	1
肋骨異常を伴う先天性側弯症	1	0	1
特発性血栓症（遺伝性血栓性素因によるものに限る。）	0	1	1
前眼部形成異常	0	1	1
計	6	77	83

[出典：令和2年度衛生行政報告例 第54 特定医療費（指定難病）受給者証所持者数より一部抜粋]

重症心身障害及び医療的ケアに係る県内の支援機関

< 訪問看護ステーション >

：病気や障害を持った人が住み慣れた地域で、その人らしく療養生活を送れるように、看護師等が生活の場へ訪問し、医師の指示書のもとに、看護ケアを提供し、自立した生活を送れるよう支援するサービスです

「○：対象」 「△：要相談」

※利用等にあたっては、事前に事業所へ確認願います。

※65歳以上の利用にあたっては介護保険制度が優先されます。

圏域	事業所名	郵便番号	住所	電話番号	FAX番号	重症心身障害	対象年齢			医療的ケア	対象年齢			OT、PT、STのいずれかの配置	備考	
							0歳～就学前	18歳～18歳未満	18歳以上～40歳未満		40歳以上～65歳未満	0歳～就学前	18歳～18歳未満			18歳以上～40歳未満
新川	魚津病院ふれあい訪問看護ステーション	937-0806	魚津市友道789番地	0765-24-7071	0765-24-7831	○	△	○	○	○	○	○	PT			
	訪問看護ナースンファイアにかわ	938-0012	黒都市出島977番地 ハイムグリンデル201号室	0765-32-5671	0765-32-5672	○	△	○	○	○	○	△				
	入善訪問看護ステーション	939-0627	下新川郡入善町梶山1336番地	0765-74-8118	0765-74-8112	△	△	△	△	△	△	△	OT	※現在リハビリ訪問（OT）が担当しており医療的ケアは他のステーションが実施		
	朝日町在宅介護支援センター 訪問看護ステーション	939-0741	下新川郡朝日町泊477番地	0765-83-0303	0765-83-9091	○	○	○	○	○	○	○				
	在宅福祉総合センター さきずな訪問看護ステーション	930-0016	富山市柳町1丁目2番18 在宅福祉総合センター内	076-439-3651	076-439-3654	○	△	○	○	○	○	△	○			
	在宅福祉総合センター さきずな訪問看護ステーション ぼぶらサテライト	939-2706	富山市婦中町速星398番地1	076-466-5028	076-466-0876	○	△	○	○	○	○	△	PT			
	しみずまち敬寿苑訪問看護ステーション	930-0036	富山市清水町2丁目6番23号	076-495-9338	076-495-9339	○	△	○	○	○	○	△				
	訪問看護ステーション ままアジスト	930-0887	富山市五福1188番地2	076-411-9228	076-411-9158	○	○	○	○	○	○	○				
	訪問看護ステーション ジョジョ	930-0936	富山市藤木1972-4	076-461-6165	076-461-7265	○	○	○	○	○	○	○				
	訪問看護ステーション 希望のひかり	939-2252	富山市上大久保1308-2	076-461-5511	076-467-5570	○	△	○	○	○	○	△	○			
富山	訪問看護ステーション まめなけ	939-2376	富山市八尾町福島七丁目42番地	076-454-5650	076-454-3262	△					△	○				
	光風会訪問看護ステーション	939-2716	富山市婦中町下齋田1019	076-461-7730	076-461-7744	△					△	○				
	訪問看護ステーション	939-8194	富山市南金屋111番地	076-411-8112	076-428-1810	○	○	○	○	○	○	○	○			
	訪問看護ステーション ゆりかご	939-8208	富山市布瀬町南二丁目1番地9	076-461-5771	076-461-5881	○	○	○	○	○	○	○	○			
	ナーシングケアさくら	939-8221	富山市八日町247-13 2F	076-481-6253	076-461-6254	○	○	○	○	○	○	○	○			
	高志訪問看護ステーション	931-8443	富山市下飯野36番地	076-438-2233	076-437-5390	○	○	○	○	○	○	○	PT,OT,ST			
	富山県看護協会訪問看護ステーション ひよどり富山	930-0885	富山市韓島字川原1907-1	076-433-8853	076-433-5704	○	○	○	○	○	○	○				
	訪問看護ステーション ほへつと とやま	939-2208	富山市婦中町分田88-1 コンチネンタル鶴坂104号	076-464-3507	076-464-3508	○	○	○	○	○	○	△	○			
	訪問看護ステーション なないろ	930-0962	富山市長江本町18番1号	076-464-6817	076-411-6477	○	○	○	○	○	○	○				人工呼吸器-要相談、腹膜透析：不可
	在宅福祉総合センターひまわり訪問看護ステーション	931-8314	富山市栗島町2丁目2-1	076-432-1570	076-432-1574	○	△	○	○	○	○	△	PT,OT,ST			
富山赤十字訪問看護ステーション	930-0859	富山市牛島本町2-1-58 富山赤十字病院内	076-433-2573	076-433-2739	○	△	○	○	○	○	△	OT				
訪問看護ステーション さわやか	939-2256	富山市上二杉420-2	076-468-8111	076-468-8112	△							○			要相談	
訪問看護ステーション 呉羽	930-0138	富山市呉羽町3732	076-471-6292	076-471-6293	△						△					
東岩瀬訪問看護ステーション	931-8336	富山市高島町一丁目11番11号	076-411-9880	076-411-9880	△						△					
アモール訪問看護ステーション	939-8216	富山市黒瀬北町二丁目7番地8 Calme102	076-422-8230	076-422-8234	○						○	○				
訪問看護ステーション ゆうきの輪	939-8204	富山市根塚町1-1-7 PS ONE 1階 - D	076-482-6920	076-482-6921	○	○	○	○	○	○	○	○	○			

圏域	事業所名	郵便番号	住所	電話番号	FAX番号	重症 心身 障害	対象年齢			OT、 PT、STの いずれか の配置	備考				
							0歳～ 就学前	18歳 ～ 19歳 未満	18歳 以上 ～ 40歳未満 ～65歳未満			40歳 以上 ～ 65歳未満			
富山	25 訪問看護ステーション おうちへ帰ろう	939-8036	富山市高屋敷815-53	076-492-8841	076-492-8846	○	○	○	○	○	○	OT,PT			
	26 済生会富山訪問看護ステーション	931-8533	富山市楠木33番地1	076-437-1180	076-437-1181	△		△	△	○	○				
	27 おれんじ訪問看護ステーション	939-8036	富山市高屋敷65番地1	076-413-5575	076-493-6003	○	△	○	○	○	△	○	PT,ST		
	28 ソフィア訪問看護ステーション	939-8211	富山市二口町1-10-7	076-461-6401	076-461-6402	△	△	△	△	○	○	○			
	29 チューリップ訪問看護ステーション	930-0974	富山市長江5丁目4番33号	076-413-3822	076-494-1566					○	○	○			
	30 滑川市医師会訪問看護ステーション	936-0051	滑川市寺家町104番地 滑川市役所庁舎東別館2階	076-476-1122	076-476-1172	△	△	△	△	○	○	○	PT,ST	腹膜透析：要相談	
	31 訪問看護ステーション むゆうじゅ	936-0033	滑川市吾妻町426-31	076-476-0114	076-471-8402	○		○	○	○	○	○	OT,PT		
	32 中新川訪問看護ステーション	930-0391	中新川郡上市町法音寺51番地	076-472-5703	076-472-5701	○			○	○	○	○	PT	PT非常勤(3日/週)	
	33 訪問看護ステーション ほんのぼの	930-0221	中新川郡立山町前沢1169番地	076-463-0616	076-463-0698	○			○	○	○	○	PT	PT非常勤(3日/週)	
	34 訪問看護ステーション わか木	933-0824	高岡市西藤平蔵313光ヶ丘病院在宅総合センター内	0766-63-7222	0766-63-7224	○	○	○	○	○	○	○			
	35 高岡市医師会訪問看護ステーション	933-0011	高岡市石瀬6番地1	0766-26-1350	0766-26-1360	○	○	○	○	○	○	○	○	○	OT,PT,ST 全て配置あり
	36 訪問看護ステーション サンケア高岡	933-0045	高岡市本丸町7-1 本丸会館内	0766-25-8185	0766-25-8685	○	○	○	○	○	○	○			
	37 厚生連高岡訪問看護ステーション	933-0806	高岡市赤祖父636番地	0766-50-9002	0766-50-9003	△									要相談
	38 もみじ訪問看護ステーション	933-8555	高岡市永楽町5番10号 厚生連高岡病院内	0766-24-9535	0766-24-9516	△	△	△	△	△	△	△			
	39 訪問看護ステーション ひだまり	933-0331	高岡市中保1389番地1	0766-31-5550	0766-31-5551	○	○	○	○	○	○	○	○		
	40 済生会高岡訪問看護ステーション	933-0826	高岡市佐野1095番地2	0766-53-5350	0766-53-5352										
	41 訪問看護ステーション 十色	933-8525	高岡市二塚355-1	0766-21-0558	0766-21-7518										腹膜透析不可、人工呼吸器要相談
	42 あいの風訪問看護ステーション 二上サテライト	933-0949	高岡市四屋759-1 つりビル2階	0766-26-1016	0766-26-1019	○	○	○	○	○	○	○	○		
	43 氷見訪問看護ステーション	933-0981	高岡市二上町1144-2	0766-30-2400	0766-30-2587	△	△	△	△	△	△	△			
	44 訪問看護ステーション ひまわり	935-0025	氷見市鞆川1130番地	0766-72-1221	0766-72-1226	○	○	○	○	○	○	○	○		
	45 リハ・ハウス来夢訪問看護ステーション	935-0061	氷見市余川1153-2	0766-72-1181	0766-72-1182	△	△	△	△	△	△	△	△		
	46 真生会訪問看護ステーション ころろ	935-0024	氷見市窪385番地1 DREAMER106室	0766-92-2122	0766-92-2155	△	△	△	△	△	△	△	△		人工呼吸器、腹膜透析不可
	47 富山福祉短期大学訪問看護ステーション	939-0243	射水市下若89-10	0766-52-6814	0766-52-5206	○	○	○	○	○	○	○	○		
	48 射水ライフ・サポート訪問看護ステーション	939-0341	射水市三ヶ579	0766-55-2941	0766-55-2942	△			△	△	△	△	△		医療依存度による
	(42) あいの風訪問看護ステーション	939-0287	射水市赤井77番地1	0766-73-2614	0766-73-2615	△			△	△	△	△	△		人工呼吸器要相談、腹膜透析不可
	あいの風訪問看護ステーション	934-0021	射水市海王町21-61	0766-73-9050	0766-54-6648	○	○	○	○	○	○	○	○		
あいの風訪問看護ステーション 小杉サテライト	939-0351	射水市戸破1761-1	0766-73-9050	0766-54-6648	○	○	○	○	○	○	○	○			
49 結りハビリ訪問看護ステーション	939-0341	射水市三ヶ1525-402号室	0766-73-2719	0766-73-2729	○	○	○	○	○	○	○	○			
50 だいまん訪問看護ステーション	939-0232	射水市大門161-1	0766-52-0125	0766-52-0128	△			△	△	△	△	△			
51 ものがたり訪問看護ステーション	939-1315	砺波市太田1382番地	0763-55-6103	0763-34-0103	○			○	○	○	○	○		腹膜透析：不可	

圏域	事業所名	郵便番号	住所	電話番号	FAX番号	重症 心身 障害	対象年齢				OT、 PT、STの いずれか の配置	備考
							0歳～ 就学前	18歳 未満	18歳 以上 ～40歳未満	40歳 以上 ～65歳未満		
砺波	砺波市訪問看護ステーション	939-1395	砺波市新富町1-61 砺波総合病院内	0763-32-7055	0763-32-7056	○	○	○	○	○	○	
	小矢部市医師会訪問看護ステーション	932-0833	小矢部市綾子5543	0766-68-0020	0766-68-0021	○	○	○	○	○	○	
	南砺市訪問看護ステーション	932-0211	南砺市井波938番地南砺市民病院内	0763-82-7775	0763-82-7776	○	○	○	○	△	○	腹膜透析：要相談
54	南砺市訪問看護ステーション 福光サテライト	939-1724	南砺市梅野2007番地5	0763-52-9595	0763-53-2252	○	○	○	○	△	○	腹膜透析：要相談

重症心身障害及び医療的ケアに係る県内の支援機関 < 居宅介護・重度訪問介護 >

「○：対象」 「△：要相談」

居宅介護（ホームヘルプ）：
 重度訪問介護：
 重度の肢体不自由者又は重度の知的障害若しくは精神障害により、行動上著しい困難を有する人で常に介護を必要とする人に、自宅、入浴、排せつ、食事の介護、外出時における移動支援などを総合的にを行います。

※利用等にあたっては、事前に事業所へ確認願います。 ※65歳以上の利用にあたっては介護保険制度が優先されます。

圏域	事業所名	郵便番号	住所	電話番号	FAX番号	重症心身障害	対象年齢				医療的ケア	認定待 定行為 (喫煙 吸引等 可否)	備考	
							0歳～ 就学前	就学後 ～ 18歳 未満	18歳 以上 ～ 40歳 未満	40歳 以上 ～ 65歳 未満				
新 川	1 魚津市社協ヘルパーステーション	937-0801	魚津市新金屋2丁目13番26号	0765-23-1888	0765-23-1889	○	○	○	○					
	2 ホームヘルプサービス しおんの家	939-3515	富山市水橋辻ヶ堂801番地1	076-471-5072	076-478-0371	○	△	○	○	△	△	△	△	要相談
	3 ハッピーとやま	931-8336	富山市高島町1丁目10番17号	076-438-8484	076-438-8489	△								要相談
	4 はなさき苑ホームヘルプセンター	930-1326	富山市花崎80番地	076-483-3111	076-483-3322	△				△				
	5 在宅福祉総合センター ひまわりヘルパーステーション	931-8314	富山市栗島町2丁目2-1	076-433-2592	076-432-1574	○		○	○					
	6 株式会社ケア・ワールド	930-0881	富山市布瀬町南2丁目9番地2	076-422-7003	076-422-7334	○	○	○	○					
	7 さくら・介護ステーションとやま南	939-8214	富山市黒崎291番地	076-481-6239	076-481-6246	○	○	○	○	○	○	○	○	
	8 訪問介護ステーション さくら苑	930-0824	富山市鶴ヶ丘町159番地12テアトル101号	076-451-6553	076-451-6563	○	△	○	○					
	9 ヘルパーステーション すみれ	939-2252	富山市上大久保1585番地1	076-461-5513	076-461-5523	○								
	10 ヘルパーステーション まる～な	939-8136	富山市月見町4丁目42番地	076-429-5740	076-429-5771	○		○	○					
	11 訪問介護ステーション 希	939-8048	富山市太田2204番地	076-461-6381	076-461-6385	○	○	○	○					
12 訪問介護事業所 自薦サポートセンター	939-8142	富山市月岡西線町138番地	070-4496-9836	076-482-5311						○	○			
13 サンヴェルズ才覚寺ヘルパーステーション (居宅介護のみ)	939-8263	富山市才覚寺259番地	076-482-6543	076-482-6542						○	△		疾病状況による	
14 訪問介護事業所 f 5	939-8091	富山市旭町3番6号	076-482-3712	076-482-3712	△		△	△						
15 上市町ホームヘルパーステーション	930-0361	中新川郡上市町湯上野1176番地	076-473-9300	076-473-9388	○		△	○						
16 ホームヘルプサービス こばん	933-0826	高岡市佐野548番2	0766-54-5703	0766-54-5704	○	○	○	○	○	○	○	○		
17 よろこび高岡ケアセンター	933-0014	高岡市野村846番地1	0766-73-9990	0766-73-9993	○	○	○	○	○	○	○	○		
18 とやま24	933-0841	高岡市金屋638-22	050-3430-8311	050-3412-1517	○	○	○	○	○	○	○	○	○	身体障害者を対象
19 大江苑ヘルパーステーション	939-0302	射水市大江333番地の1	0766-55-8888	0766-55-5885	△									要相談
20 ヘルパーステーション やまぶき	939-0232	射水市大門6番地15	0766-52-3356	0764-03-6300	○									○
21 小矢部市社協ホームヘルプセンター	932-0821	小矢部市鷺島15番地	0766-67-8613	0766-67-4896	○	○	○	○						
22 ふく満ホームヘルプサービス事業所	939-1662	南砺市福光1045番地	0763-53-0055	0763-53-1131	○									
23 となみケアサービス	939-1844	南砺市野口191番地の1	0763-62-3777	0763-62-3774	○									
24 マーシ園ヘルパーステーション	939-1561	南砺市福野1736-1	0763-55-6702	0763-55-6528	△		△	△						
高岡														
砺波														

重症心身障害及び医療的ケアに係る県内の支援機関 < 児童発達支援・放課後等デイサービス >

「○：対象」 「△：要相談」

児童発達支援事業（児童発達）： 放課後等デイサービス（放課後等デイ）：
 通所利用の未就学の障害児に対する支援を行う身近な療育の場です。 学校就学中の障害児に対して、放課後や夏休み等の長期休暇中において、生活能力向上のための訓練等を継続的に提供します。

※利用等にあたっては、事前に事業所へ確認願います。

※65歳以上の利用にあたっては介護保険制度が優先されます。

圏域	事業所名	郵便番号	住所	電話番号	FAX番号	児童発達	放課後等デイ	重症心身障害	対象年齢		医療的ケアを必要とする利用者の受け入れ体制										備考				
									0歳～就学前	0歳～18歳未満	人工呼吸器の管理(ガーゼ交換等)	吸引	経管栄養(胃ろうを含む)	中心静脈栄養	導尿	人工肛門	腹膜透析	その他							
新川	1 魚津市身体障害者デイサービスセンター	937-0866	魚津市本町1丁目4番32号	0765-22-1250	0765-22-7911	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	2 すてっぷサポート わんぱく工房	938-0036	黒部市北新215-7	0765-56-7283	0765-56-7283	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	(38) つくしの家黒部 (※たる事業所)	938-0806	黒部市大山210番1号	0765-56-5022	0765-56-5031	○	○	△	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	3 のびのbe-サポートあおの丘 (※たる事業所)	939-0613	下新川郡入善町田ノ又80番地	0765-72-3838	0765-72-3838	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	3 らいぶざーサポートあおの丘 (※たる事業所)	939-0642	下新川郡入善町上野1170-4	0765-32-3977	0765-32-3977	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	4 だいたい水橋	930-0521	富山市水橋中村町67番地1	076-464-6865	076-464-6895	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	5 ぼらハートのいえ みらい	930-0873	富山市金屋宇古屋敷4215番地2	076-444-1294	076-444-1296	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	6 富山市恵光学園	930-0891	富山市石坂新950番地1	076-431-5828	076-431-5833	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	膀胱瘻	
	7 フローレンスジョジョ	930-0936	富山市藤木1972-4	076-461-6165	076-461-7265	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	8 つくしの家 (※たる事業所)	930-2226	富山市八町5274-2	076-435-3279	076-435-3269	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	9 多機能事業所 あゆみの郷	939-2231	富山市稲代1037	076-467-4481	076-467-4482	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	10 デイサービス ありがた家	939-2376	富山市八尾町福島3丁目79番地	076-455-8339	076-455-8333	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	11 独立行政法人国立病院機構富山病院	939-2692	富山市婦中町新町3145番地	076-469-2135	076-469-5616	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	12 つくしの家婦中	939-2745	富山市婦中町広田5650番地	076-481-6888	076-481-6888	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	13 デイサービス しおんの家	939-3515	富山市水橋辻ヶ堂777番地	076-479-9173	076-479-9174	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	14 指定児童発達支援事業所 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター	931-8517	富山市下飯野36	076-438-2233	076-426-1588	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	15 指定放課後等デイサービス事業所 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター	931-8517	富山市下飯野36	076-438-2233	076-426-1588	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	16 まちなかハウスぱっけ	930-0015	富山市於保多町8-10-5	076-456-9230	076-456-9230	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	17 ひまわり畑	930-0035	富山市清水中町1番14号	076-424-3572	076-424-3573	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	18 富山型デイサービス まるまる	930-0836	富山市上富居新町13番11号	076-451-7087	076-481-7105	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	19 放課後等デイサービス ひかり	930-0891	富山市石坂新111-30	076-433-8881	076-433-8891	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	20 このゆびとーまれ	930-0928	富山市富岡町355番地	076-493-0765	076-493-0765	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	21 デイサービス このゆびとーまれ向い	930-0928	富山市富岡町365番地	076-493-0030	076-493-0765	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
22 キッズルーム たまご	930-2205	富山市金山新東13番地2	076-435-2882	076-435-2442	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
23 キッズルーム ひよこ	930-2205	富山市金山新東190番地	076-435-1881	076-435-1331	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

圏域	事業所名	郵便番号	住所	電話番号	FAX番号	児童発達	放課後等デイ	重症心身障害	対象年齢		医療的ケア	医療的ケアを必要とする利用者の受け入れ体制										備考							
									0歳～就学前	就学後～18歳未満		医療的ケア	人工呼吸器の管理(ガーゼ交換等)	人工呼吸器の管理	酸素療法	吸入・ネブライザー	吸引	経管栄養(胃ろうを含む)	中心静脈栄養	導尿	人工肛門		腹膜透析	その他					
高岡	52 戸出おおかみの家	939-1102	高岡市戸出狼108-14	0766-63-3500	0766-63-3337	○	○	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	53 ファミリーサポートハウス わか木	933-0958	高岡市波岡61-1	0766-23-9080	0766-23-9087	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	54 デイケアハウス 手をつなごう	933-0045	高岡市本丸町13番18号	0766-21-0976	0766-21-0966	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	55 多機能型重症児デイサービス おはな	933-0011	高岡市石瀬6番地1	0766-73-8087	0766-26-1360	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	PT,OT,ST配置	
	56 キッズサポート なないろ	935-0004	氷見市北大町15番19号	0766-74-0118	0766-74-0118	○	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△		
	57 みんなの家のどか	935-0252	氷見市中村485番地1	0766-73-6321	0766-72-6322	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	状態により受け入れできない場合があります
	58 氷見市障害者福祉センター 我家	935-0021	氷見市幸町34番13号	0766-74-0334	0766-74-0332	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△		
	59 COCORO	939-0413	射水市串田1387-3	0766-53-0056	0766-53-0056	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△		
	60 こどもサポートハウス おりいいぶ	939-0311	射水市黒河5061番地51	0766-75-7300	0766-75-7300	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△		
	61 片口デイサービス わが家	934-0032	射水市片口828番地	0766-86-6686	0766-86-6684	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△		
	62 地域生活支援・交流ハウス ふらっと	939-0361	射水市太閤町4番地	0766-56-6661	0766-56-6667	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	
	63 チャレンジャー	939-0341	射水市三ヶ2524番1	0766-95-4063	0766-95-4063	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△		
	64 ゆたか町の家	939-1364	砺波市豊町2丁目13-6	0763-33-1470	0763-33-1470	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	65 東石丸の家	939-1302	砺波市東石丸30番地31	0763-55-6431	0763-55-6432	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△		
	66 ここいろ	939-1355	砺波市杉木4丁目75 74ビル2号室	0763-58-5365	0763-58-5366	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△		
	67 ステップ・バイ・ステップ	939-1724	南砺市梅野東野島2077-1	0763-55-6708	0763-55-6606	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△		

重症心身障害及び医療的ケアに係る県内の支援機関 < 児童発達支援センター >

通所支援のほか、身近な地域の障害児支援の拠点として、「地域で生活する障害児や家族への支援」、「地域の障害児を預かる施設に対する支援」を実施するなどの地域支援を行います。児童発達支援センターは医療の提供の有無によって、医療型と福祉型に分かれます。

「○：対象」 「△：要相談」

※利用等にあたっては、事前に事業所へ確認願います。 ※65歳以上の利用にあたっては介護保険制度が優先されます。

圏域	事業所名	郵便番号	住所	電話番号	FAX番号	医療型	福祉型	重症心身障害	児童年齢 0歳～ 就学前	医療的 ケア	児童年齢 0歳～ 就学前	医療的ケアを必要とする利用者の受け入れ体制										備考		
												服薬 管理	ハルスオキ シメーター ウエイ	気管切開部 の管理(カ セ交換等)	人工呼吸器 の管理	酸素 療法	吸入・ ネブラ イザー	吸引	経管栄養 (胃ろうを 含む)	中心 静脈 栄養	薄尿		人工 肛門	腹膜 透析
新川	1 魚津市立つくし学園	937-0806	魚津市友道373-2	0765-24-3240	0765-24-3247		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
富山	2 富山市恵光学園	930-0891	富山市石坂新950番地1	076-431-5828	076-431-5833		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				膀胱瘻
	3 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター	931-8517	富山市下飯野36	076-438-2233	076-426-1588	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			利用の前に診察及び相談が必要
高岡	4 高岡市さずな子ども発達支援センター	933-0062	高岡市江尻279番地	0766-21-3615	0766-27-7080	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	△			

圏域	事業所名	郵便番号	住所	電話番号	FAX番号	医療型	福祉型	重症 心身 障害	対象年齢			医療的 ケア	医療的ケアを必要とする利用者の受け入れ体制										備考						
									0歳～ 就学前	就学後 ～18歳 未滿	18歳 ～40歳 未滿		40歳 ～65歳 未滿	人工 呼吸器 の管理 (ガーゼ交 換等)	気管切開 の管理 (ガーゼ交 換等)	人工 呼吸器 の管理	酸素 療法	吸入 ネブライ ザー	吸引	経管栄養 (胃ろう を含む)	中心 静脈 栄養	導尿		人工 肛門	尿管 通所	その他			
砺波	28 小規模共生ホームひらすま 短期入所事業所	933-0908	高岡市木町2番25号	0766-25-5010	0766-25-5710			△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△			
	29 特別養護老人ホーム はまなす苑氷見 はまなす苑氷見短期入所生活介護事業所	935-0032	氷見市島尾791番地	0766-91-7700	0766-91-7733			○				○																	
	30 片口シヨーストステイ わが家	934-0038	射水市片口828番地	0766-73-8088	0766-73-8087			△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
	31 障害者支援施設 溪明園からまつ	932-0065	小矢部市論田8	0766-68-0363	0766-68-1643			△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
	32 障害者支援施設 溪明園あすなろ	932-0065	小矢部市論田8	0766-68-0363	0766-68-1643			△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
	33 日中サービス支援型ホーム ござみ	932-0053	小矢部市石動町18番11号	0766-50-8136	0766-50-8131			△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
	34 マーシ園木の香短期入所事業所	0242	南砺市谷142番地	0763-82-6000	0763-82-6029			△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
	35 障害者支援施設 花椿 きらめき	939-1874	南砺市紀伊1302番地	0763-64-8880	0763-64-8881			△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
	36 障害者支援施設 花椿 あおぞら	939-1874	南砺市紀伊1302番地	0763-64-8880	0763-64-8881			△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
	37 特別養護老人ホーム いなみ	932-0211	南砺市井波1310番地1	0763-82-7040	0763-82-7022			△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	

県内訪問看護ステーション数と小児等への訪問看護実施状況について

1 県内の訪問看護ステーション数の推移

各年度4月1日現在

	29年度	30年度	31(R1)年度	R2年度	R3年度	全国
ステーション数(休止を除く)	62	71	72	80	82	13,003
人口10万対	5.84	6.72	6.86	7.66	8.13	10.7

出典：一般社団法人 全国訪問看護事業協会調査
人口は令和2年10月1日現在(資料：総務省統計局「国勢調査」)

2 看護職員数(常勤・非常勤含む 休止を除く)(令和2年度)

区分	新川	富山	高岡	砺波	計
県内全訪問看護ステーションの看護職員数※1	24	275	177	75	551
うち小児等受入可能事業所の看護職員数※1※2	20	158	116	50	344

※1(出典：富山県訪問看護ステーション連絡協議会「訪問看護実績報告書」)
※2(各訪問看護ステーションHPで小児対応可としているところ)

3 小児等(0～19歳)への訪問看護実施事業所数

区分	新川	富山	高岡	砺波	計
小児等受入可能事業所数(R3.4.1現在)※1※2	4	23	15	5	47
うち小児等への訪問看護実施事業所数(令和2年度)※1	3	13	9	4	29

※1(出典：富山県訪問看護ステーション連絡協議会「令和2年度訪問看護実績報告書」)
※2(各訪問看護ステーションHPで小児対応可としているところ)

4 訪問看護ステーション所在地別利用者数(令和2年度)

区分	0歳	1～2歳	3～5歳	6～11歳	12～14歳	15～19歳	計
新川	1	6	3	0	0	0	10
富山	50	44	17	8	3	11	133
高岡	14	26	5	14	4	8	71
砺波	3	6	2	6	3	3	23
計	68	82	27	28	10	22	237

(出典：富山県訪問看護ステーション連絡協議会「訪問看護実績報告書」)

富山県における未成年者の自殺者数

出所：厚生労働省 人口動態調査

	5-9才	10-14才		15-19才			
	総数	総数	男	女	総数	男	女
平成23年	0	2	2	0	4	3	1
平成24年	0	1	1	0	3	2	1
平成25年	0	0	0	0	3	3	0
平成26年	0	0	0	0	6	5	1
平成27年	0	3	1	2	3	0	3
平成28年	0	1	0	1	2	1	1
平成29年	0	3	2	1	6	6	0
平成30年	0	0	0	0	6	6	0
平成31年/ 令和元年	0	0	0	0	4	3	1
令和2年 (概数)	0	0	0	0	4	2	2

富山医療情報ガイドにおいて、対応することができる疾患・治療内容で「発達障害(自閉症、学習障害等)」を選択している医療機関

(病院)

	医療機関名	住所
1	黒部市民病院	黒部市
2	魚津緑ヶ丘病院	魚津市
3	魚津神経サナトリウム	魚津市
4	有沢橋病院	富山市
5	富山赤十字病院	富山市
6	富山市立富山市民病院	富山市
7	富山県立中央病院	富山市
8	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター	富山市
9	南富山 中川病院	富山市
10	独立行政法人国立病院機構富山病院	富山市
11	政岡内科病院	富山市
12	常願寺病院	富山市
13	医療法人社団 和敬会 谷野呉山病院	富山市
14	富山県厚生農業協同組合連合会滑川病院	滑川市
15	川田病院	高岡市
16	柴田病院	高岡市
17	駅南あずさ病院	高岡市
18	真生会富山病院	射水市
19	グリーンヒルズ若草病院	射水市
20	砺波サナトリウム福井病院	砺波市
21	市立砺波総合病院	砺波市
22	松岡病院	小矢部市
23	小矢部大家病院	小矢部市

(診療所)

	医療機関名	住所
1	竹内スリープメンタルクリニック	富山市
2	みみはなのど・あそうクリニック	富山市
3	城石内科クリニック	富山市
4	医療法人社団 和敬会 谷野医院	富山市
5	ほんだクリニック	富山市
6	医療法人社団さくらまちハートケアクリニック	富山市
7	医療法人社団八木小児科医院	富山市
8	みさきクリニック	富山市
9	福田医院	富山市
10	しんたにこどもクリニック	富山市
11	医療法人社団 博啓会 アイ・クリニック	富山市
12	富山中央診療所	富山市
13	戸出伊勢領 よろずクリニック 上田内科医院	高岡市
14	丸山医院	高岡市
15	高岡市きずな子ども発達支援センター	高岡市
16	木田小児科医院	射水市
17	木戸クリニック	射水市
18	となみの心療クリニック	砺波市

精神疾患の医療を担う医療機関等において、児童・思春期精神疾患、発達障害を担う医療機関

※2021年6月1日時点で「とやま医療情報ガイド」において、対応することができる疾患・治療内容で「発達障害(自閉症、学習障害等)」を選択している医療機関を除く

(病院)

	医療機関名	住所
1	富山労災病院	魚津市
2	かみいち総合病院	上市町
3	富山大学附属病院	富山市
4	呉陽病院	富山市
5	佐々木病院	富山市
6	高岡市民病院	高岡市
7	矢後病院	高岡市
8	厚生連高岡病院	高岡市
9	済生会高岡病院	高岡市
10	国立病院機構北陸病院	南砺市
11	公立南砺中央病院	南砺市
12	南砺市民病院	南砺市

(診療所)

	医療機関名	住所
1	星井町こころのクリニック	富山市
2	伊東メンタルクリニック	富山市
3	はじめのメンタルクリニック	富山市
4	若草クリニック	高岡市
5	川田クリニック	高岡市

富山医療情報ガイドにおいて、対応することができる疾患・治療内容で「思春期のうつ病又は躁うつ病」を選択している医療機関

(病院)

	医療機関名	住所
1	黒部市民病院	黒部市
2	医療法人社団 平成会 桜井病院	黒部市
3	魚津緑ヶ丘病院	魚津市
4	魚津神経サナトリウム	魚津市
5	藤の木病院	富山市
6	常願寺病院	富山市
7	富山赤十字病院	富山市
8	医療法人社団 和敬会 谷野呉山病院	富山市
9	医療法人社団 重仁 佐々木病院	富山市
10	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター	富山市
11	南富山 中川病院	富山市
12	富山県立中央病院	富山市
13	有沢橋病院	富山市
14	富山市立富山市民病院	富山市
15	独立行政法人国立病院機構富山病院	富山市
16	国立大学法人 富山大学附属病院	富山市
17	あゆみの郷	富山市
18	富山県厚生農業協同組合連合会滑川病院	滑川市
19	かみいち総合病院	上市町
20	柴田病院	高岡市
21	川田病院	高岡市
22	矢後病院	高岡市
23	駅南あずさ病院	高岡市
24	社会福祉法人恩賜財団済生会 富山県済生会高岡病院	高岡市
25	医療法人 太閤山病院	射水市
26	真生会富山病院	射水市
27	医療法人財団正友会 中村記念病院	氷見市
28	砺波サナトリウム福井病院	砺波市
29	市立砺波総合病院	砺波市
30	独立行政法人国立病院機構北陸病院	南砺市
31	南砺市民病院	南砺市
32	松岡病院	小矢部市
33	小矢部大家病院	小矢部市

(診療所)

	医療機関名	住所
1	医療機関名	住所
2	平野クリニック	魚津市
3	竹内スリープメンタルクリニック	富山市
4	伊東メンタルクリニック	富山市
5	城石内科クリニック	富山市
6	医療法人社団 和敬会 谷野医院	富山市
7	ほんだクリニック	富山市
8	医療法人社団さくらまちハートケアクリニック	富山市
9	みさきクリニック	富山市
10	福田医院	富山市
11	医療法人社団 長森興南クリニック	富山市
12	富山中央診療所	富山市
13	中村内科医院	滑川市
14	雨晴クリニック	高岡市
15	戸出伊勢領 よろずクリニック 上田内科医院	高岡市
16	丸山医院	高岡市
17	桜馬場内科歯科医院	高岡市
18	高岡駅南クリニック	高岡市
19	川田クリニック	高岡市
20	若草クリニック	高岡市
21	宮林クリニック	射水市
22	木戸クリニック	射水市
23	伏木医院	砺波市
24	となみの心療クリニック	砺波市

県内病院・診療所における臨床心理士の配置状況

医療機関名	住所	総人員数			常勤総数			非常勤総数		
		外来	入院		外来	入院		外来	入院	
黒部市民病院	黒部市	1.4			1			0.4		
魚津緑ヶ丘病院	魚津市	2.0	2.0		2	2				
あさひ総合病院	朝日町	0.1	0.1					0.1	0.1	
富山県リハビリテーション病院・こども支援センター	富山市	8.0			8					
常願寺病院	富山市	4.0	3.0	1.0	4	3	1			
富山大学附属病院	富山市	3.6	3.6		1	1		2.6	2.6	
医療法人社団 和敬会 谷野呉山病院	富山市	3.0		3.0	3		3			
医療法人社団 重仁 佐々木病院	富山市	2.0	2.0		2	2				
富山県立中央病院	富山市	1.9	1.9	1.9	1	1	1	0.9	0.9	0.9
有沢橋病院	富山市	1.0		1.0	1		1			
富山市立富山市民病院	富山市	1.0	1.0		1	1				
富山赤十字病院	富山市	0.2						0.2		
かみいち総合病院	上市町	0.1	0.1					0.1	0.1	
駅南あずさ病院	高岡市	1.4	1.4	1.4	1	1	1	0.4	0.4	0.4
富山県厚生農業協同組合連合会高岡病院	高岡市	1.0		1.0	1		1			
高岡市民病院	高岡市	1.0	1.0		1	1				
川田病院	高岡市	0.4	0.4					0.4	0.4	
柴田病院	高岡市	0.1						0.1		
真生会富山病院	射水市	2.5	2.5	2.0	2	2	2	0.5	0.5	
グリーンヒルズ若草病院	射水市	1.0	1.0	1.0	1	1	1			
市立砺波総合病院	砺波市	1.3	1.3		1	1		0.3	0.3	
砺波サナトリウム福井病院	砺波市	0.2	0.2					0.2	0.2	
独立行政法人国立病院機構北陸病院	南砺市	4.0	1.0	3.0	4	1	3			
南砺市民病院	南砺市	1.0			1					
公立学校共済組合北陸中央病院	小矢部市	3.0	3.0	3.0	3	3	3			
松岡病院	小矢部市	1.4			1			0.4		
小矢部大家病院	小矢部市	1.0		1.0	1		1			
ほんだクリニック	富山市	7.0	7.0		4	4		3.0	3.0	
富山県心の健康センター※	富山市	2.0	2.0		2	2				
(一財)北陸予防医学協会※	富山市	2.0			2					
医療法人社団 和敬会 谷野医院	富山市	1.6	1.6		1	1		0.6	0.6	
富山大学保健管理センター※	富山市	1.2			1			0.2		
北陸予防医学協会 とやま健診プラザ	富山市	1.0	3.0		1	3				
アイ・クリニック	富山市	0.6	0.6					0.6	0.6	
富山大学保健管理センター杉谷分室※	富山市	0.5						0.5		
竹内スリープメンタルクリニック	富山市		1.0						1.0	
川田クリニック	高岡市	1.1	1.1		1	1		0.1	0.1	
戸出伊勢領 よろずクリニック 上田内科医院	高岡市	1.0	1.0		1	1				
高岡市きずな子ども発達支援センター	高岡市	0.5	0.5					0.5	0.5	
富山大学保健管理センター高岡分室※	高岡市	0.1						0.1		

※一般には対応していない医療機関

出典:とやま医療情報ガイド(R3.7.2アクセス)

子どもの相談支援・情報提供窓口

1. 子どもの医療相談窓口

施設名称等	所在地等	対応時間	備考
子ども医療電話相談（#8000）		電話相談／ 平日 19時～翌朝9時 土曜 13時～翌朝9時 日曜・祝日 朝9時～翌朝9時	

2. 厚生センターの健康相談窓口（電話／窓口）

施設名称等	所在地等	対応時間	備考
新川厚生センター	黒部市	平日8時30分～17時15分	黒部市・入善町・朝日町
新川厚生センター魚津支所	魚津市	平日8時30分～17時15分	魚津市
中部厚生センター	上市町	平日8時30分～17時15分	滑川市・上市町・立山町・舟橋村
高岡厚生センター	高岡市	平日8時30分～17時15分	高岡市
高岡厚生センター射水支所	射水市	平日8時30分～17時15分	射水市
高岡厚生センター氷見支所	氷見市	平日8時30分～17時15分	氷見市
砺波厚生センター	砺波市	平日8時30分～17時15分	砺波市・南砺市
砺波厚生センター小矢部支所	小矢部市	平日8時30分～17時15分	小矢部市

3. 市町村の健康相談窓口（電話／窓口）

施設名称等	所在地等	対応時間	備考
各市町村健康センター（22カ所）	各市町村	各窓口受付時間 平日8時30分～17時15分	

4. その他の相談窓口

施設名称等	所在地等	対応時間	備考
子育てほっとライン		電話相談／ 月～金 午前10時～午後9時	上記以外の時間はFAXと留守番電話で対応
富山県女性健康相談センター	富山市	電話相談／ 火・木・土曜日 AM9時00分～PM1時00分 水・金曜日 PM2時00分～PM6時00分 面接相談／ 火・木・土曜日 PM2時00分～PM6時00分 水・金曜日 AM9時00分～PM1時00分	面接相談は電話でのご予約が必要

※地域子育て支援センター（84カ所）でも相談を受け付けている。

子ども医療電話相談事業(＃8000)の実績(令和2年度)

1. <電話相談対応内容内訳>

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
すぐ救急車を呼んで救急センターへ	9	3	10	8	6	5	9	14	12	4	11	6	97
すぐ病院へ行く	119	138	113	151	149	122	149	146	114	106	109	119	1,535
今晚でなくても昼間かかりつけ医へ行く	374	302	209	282	326	295	305	269	257	214	234	234	3,301
心配ないが何かあれば病院へ行く	94	136	114	106	129	88	89	93	95	79	80	80	1,183
その他	27	27	17	21	27	27	22	34	22	17	13	14	268
計	623	606	463	568	637	537	574	556	500	420	447	453	6,384

県医務課調べ

2. <医療機関案内内訳>

案内先	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
1.三次(救命救急センター)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2.休日夜間急患センター	144	164	116	145	143	151	137	148	124	102	102	110	1,586
3.休日当番医	6	14	3	6	6	5	4	3	7	6	1	4	65
4.黒部市民病院	7	0	2	12	6	11	6	5	9	8	5	8	79
5.市立砺波総合病院	10	7	10	12	8	12	10	10	6	11	6	6	108
6.その他の病院・診療所	43	39	28	43	48	32	40	35	35	28	39	34	444
7.富山県歯科保健医療総合センター	2	4	1	1	6	0	2	1	3	3	4	3	30
8.119番案内	9	3	10	8	6	5	9	14	12	4	11	6	97
合計	221	231	170	227	223	216	208	216	196	162	168	171	2,409

※医療機関案内の合計件数が異なるのは、1件の相談に対して複数の医療機関を案内することがあるため。

県医務課調べ

3. <地域別内訳(入電)>

市町村名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	
富山市	272	270	204	250	267	242	245	259	223	189	192	193	2,806	44.0%
高岡市	92	91	88	81	104	73	79	83	75	69	78	76	989	15.5%
魚津市	16	19	18	14	21	20	19	21	17	10	11	21	207	3.2%
氷見市	16	20	14	23	9	8	14	15	12	20	13	15	179	2.8%
滑川市	22	16	21	23	18	22	25	16	13	14	24	12	226	3.5%
黒部市	18	10	7	23	23	21	18	12	13	7	13	10	175	2.7%
砺波市	29	27	24	22	29	20	17	23	24	15	19	15	264	4.1%
小矢部市	16	11	6	8	9	17	16	13	14	9	5	12	136	2.1%
南砺市	20	23	18	14	13	19	15	14	12	8	14	16	186	2.9%
射水市	65	65	32	59	75	60	67	51	59	34	49	42	658	10.3%
舟橋村	5	6	5	4	4	3	9	2	3	2	1	3	47	0.7%
上市町	9	7	6	7	12	2	7	11	5	9	8	6	89	1.4%
立山町	18	15	8	15	17	11	19	13	13	15	10	12	166	2.6%
入善町	13	16	8	17	24	9	13	11	8	10	5	10	144	2.3%
朝日町	4	3	1	3	2	5	3	2	2	6	3	6	40	0.6%
その他	8	7	3	5	10	5	8	10	7	3	2	4	72	1.1%
合計	623	606	463	568	637	537	574	556	500	420	447	453	6,384	100.0%

県医務課調べ

子ども医療電話相談事業(＃8000)の実績 (令和2年度)

4. <案内結果内訳>

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
①医療機関案内	128	141	123	159	155	127	158	160	126	110	120	125	1,632
②相談	483	451	336	402	468	399	405	382	366	306	323	322	4,643
③その他	12	14	4	7	14	11	11	14	8	4	4	6	109
合計	623	606	463	568	637	537	574	556	500	420	447	453	6,384

県医務課調べ

うち時間帯別件数 ①医療機関案内

①医療機関案内	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	
0:00 ~ 1:00	9	4	6	10	7	11	12	10	3	7	5	7	91	6%
1:00 ~ 2:00	6	4	3	11	3	4	9	9	11	6	7	3	76	5%
2:00 ~ 3:00	3	2	4	5	4	1	6	6	7	1	7	5	51	3%
3:00 ~ 4:00	5	0	2	3	1	1	3	2	3	0	4	5	29	2%
4:00 ~ 5:00	0	1	1	1	1	1	2	0	4	1	2	4	18	1%
5:00 ~ 6:00	2	0	0	4	3	0	1	3	3	3	3	6	28	2%
6:00 ~ 7:00	3	1	2	2	2	3	5	6	3	3	4	2	36	2%
7:00 ~ 8:00	7	2	4	5	3	5	7	1	4	2	4	0	44	3%
8:00 ~ 9:00	1	1	3	3	7	2	2	1	4	0	0	2	26	2%
9:00 ~ 10:00	0	6	0	0	1	1	2	1	0	1	1	0	13	1%
10:00 ~ 11:00	2	3	6	2	5	4	1	1	1	2	0	2	29	2%
11:00 ~ 12:00	1	5	2	3	3	1	2	1	1	1	2	1	23	1%
12:00 ~ 13:00	0	2	1	0	4	2	1	1	1	2	1	2	17	1%
13:00 ~ 14:00	7	7	5	3	9	8	0	5	1	3	2	3	53	3%
14:00 ~ 15:00	7	3	3	12	7	4	3	5	1	2	3	2	52	3%
15:00 ~ 16:00	3	9	5	2	7	5	3	7	5	4	1	3	54	3%
16:00 ~ 17:00	2	7	4	6	8	3	8	8	4	4	3	2	59	4%
17:00 ~ 18:00	3	9	5	7	6	3	5	7	6	7	2	6	66	4%
18:00 ~ 19:00	2	5	6	5	0	1	4	7	3	5	4	4	46	3%
19:00 ~ 20:00	24	22	18	28	23	16	21	19	20	15	24	20	250	15%
20:00 ~ 21:00	21	17	14	16	15	16	21	22	14	13	12	18	199	12%
21:00 ~ 22:00	6	15	11	13	17	17	16	14	9	7	10	12	147	9%
22:00 ~ 23:00	7	10	12	11	13	11	15	16	8	12	8	8	131	8%
23:00 ~ 0:00	7	6	6	7	6	7	9	8	10	9	11	8	94	6%
計	128	141	123	159	155	127	158	160	126	110	120	125	1,632	100%

うち時間帯別件数 ②相談

②相談	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	
0:00 ~ 1:00	12	15	7	21	19	17	21	14	12	13	14	13	178	4%
1:00 ~ 2:00	13	10	5	11	7	6	9	10	10	9	9	15	114	2%
2:00 ~ 3:00	11	7	7	12	10	12	4	11	10	2	7	9	102	2%
3:00 ~ 4:00	8	5	7	4	10	3	10	5	9	5	5	8	79	2%
4:00 ~ 5:00	8	8	5	4	6	6	9	8	4	3	5	4	70	2%
5:00 ~ 6:00	6	5	9	8	6	1	1	7	5	5	6	3	62	1%
6:00 ~ 7:00	14	13	13	8	16	14	9	6	7	6	1	8	115	2%
7:00 ~ 8:00	21	16	11	21	26	15	27	26	18	12	17	5	215	5%
8:00 ~ 9:00	21	10	16	21	15	21	13	8	14	3	9	9	160	3%
9:00 ~ 10:00	8	4	4	4	6	9	3	6	2	2	2	2	52	1%
10:00 ~ 11:00	4	13	2	8	10	6	5	4	5	8	6	6	77	2%
11:00 ~ 12:00	5	11	2	4	12	4	5	4	2	2	6	3	60	1%
12:00 ~ 13:00	14	8	2	3	6	8	2	4	2	3	3	3	58	1%
13:00 ~ 14:00	15	9	12	14	11	15	11	8	7	8	9	8	127	3%
14:00 ~ 15:00	18	21	6	6	16	9	7	4	12	7	5	5	116	2%
15:00 ~ 16:00	15	13	9	4	10	8	11	12	7	7	9	7	112	2%
16:00 ~ 17:00	13	16	8	17	13	9	17	9	18	8	12	4	144	3%
17:00 ~ 18:00	18	14	4	14	11	16	7	16	14	12	11	9	146	3%
18:00 ~ 19:00	19	34	14	14	18	14	11	14	12	10	13	11	184	4%
19:00 ~ 20:00	75	69	71	71	71	60	78	64	47	51	48	54	759	16%
20:00 ~ 21:00	77	61	55	55	60	58	64	51	64	58	43	48	694	15%
21:00 ~ 22:00	45	41	37	31	53	50	41	45	37	31	40	39	490	11%
22:00 ~ 23:00	28	34	15	29	32	19	18	25	34	26	31	30	321	7%
23:00 ~ 0:00	15	14	15	18	24	19	22	21	14	15	12	19	208	4%
計	483	451	336	402	468	399	405	382	366	306	323	322	4,643	100%

子ども医療電話相談事業(＃8000)の実績 (令和2年度)

うち時間帯別件数 ③その他

③その他	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	
0:00 ~ 1:00	0	2	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	5	5%
1:00 ~ 2:00	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	3%
2:00 ~ 3:00	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	3%
3:00 ~ 4:00	1	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	4	4%
4:00 ~ 5:00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
5:00 ~ 6:00	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	1	5	5%
6:00 ~ 7:00	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	4	4%
7:00 ~ 8:00	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	3	3%
8:00 ~ 9:00	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	3	3%
9:00 ~ 10:00	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1%
10:00 ~ 11:00	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1%
11:00 ~ 12:00	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	3	3%
12:00 ~ 13:00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1%
13:00 ~ 14:00	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	2%
14:00 ~ 15:00	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	4	4%
15:00 ~ 16:00	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	4	4%
16:00 ~ 17:00	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	4	4%
17:00 ~ 18:00	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	3	3%
18:00 ~ 19:00	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	6	6%
19:00 ~ 20:00	1	2	0	3	1	1	2	3	2	0	0	1	16	15%
20:00 ~ 21:00	0	3	1	1	2	0	2	0	1	2	1	0	13	12%
21:00 ~ 22:00	1	1	0	0	3	2	0	0	2	1	0	0	10	9%
22:00 ~ 23:00	3	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1	8	7%
23:00 ~ 0:00	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3	3%
計	12	14	4	7	14	11	11	14	8	4	4	6	109	100%

うち時間帯別件数 合計

合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	
0:00 ~ 1:00	21	21	13	31	26	30	33	24	16	20	19	20	274	4%
1:00 ~ 2:00	20	14	9	22	10	10	18	19	22	15	16	18	193	3%
2:00 ~ 3:00	15	10	11	17	14	13	10	17	17	3	15	14	156	2%
3:00 ~ 4:00	14	5	9	7	11	4	14	9	12	5	9	13	112	2%
4:00 ~ 5:00	8	9	6	5	7	7	11	8	8	4	7	8	88	1%
5:00 ~ 6:00	8	5	9	13	9	2	3	11	8	8	9	10	95	1%
6:00 ~ 7:00	17	14	15	10	20	17	16	12	10	9	5	10	155	2%
7:00 ~ 8:00	28	18	15	26	29	21	34	28	22	14	22	5	262	4%
8:00 ~ 9:00	22	11	19	24	22	23	17	10	18	3	9	11	189	3%
9:00 ~ 10:00	8	10	5	4	7	10	5	7	2	3	3	2	66	1%
10:00 ~ 11:00	6	16	8	10	16	10	6	5	6	10	6	8	107	2%
11:00 ~ 12:00	6	17	4	7	16	5	7	6	3	3	8	4	86	1%
12:00 ~ 13:00	14	10	3	3	10	10	3	5	3	6	4	5	76	1%
13:00 ~ 14:00	22	16	17	17	21	23	11	13	8	11	11	12	182	3%
14:00 ~ 15:00	25	24	9	18	24	13	10	12	13	9	8	7	172	3%
15:00 ~ 16:00	19	22	14	6	17	14	14	20	12	11	10	11	170	3%
16:00 ~ 17:00	15	24	13	23	21	12	25	17	23	12	15	7	207	3%
17:00 ~ 18:00	22	23	9	22	17	19	12	24	20	19	13	15	215	3%
18:00 ~ 19:00	23	40	20	19	19	16	15	21	15	15	18	15	236	4%
19:00 ~ 20:00	100	93	89	102	95	77	101	86	69	66	72	75	1,025	16%
20:00 ~ 21:00	98	81	70	72	77	74	87	73	79	73	56	66	906	14%
21:00 ~ 22:00	52	57	48	44	73	69	57	59	48	39	50	51	647	10%
22:00 ~ 23:00	38	45	27	40	46	31	34	41	42	38	39	39	460	7%
23:00 ~ 0:00	22	21	21	26	30	27	31	29	24	24	23	27	305	5%
計	623	606	463	568	637	537	574	556	500	420	447	453	6,384	100%

富山県小児医療等提供体制検討会設置要綱

(目的)

第1条 次世代を担う子ども達の命と健康を守るため、本県の小児医療提供体制のあり方等を検討するため、富山県小児医療等提供体制検討会（以下「検討会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 検討会は、次に掲げる事項について協議する。

- (1) 持続可能な小児医療提供体制のあり方に関する事。
- (2) その他県において必要とされる小児医療の提供に関する事。

(組織)

第3条 検討会は、委員20人以内で組織する。

(委員)

第4条 委員は、知事が任命し、又は委嘱する。

- 2 委員の任期は、1年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 委員は、再任されることができる。

(会長)

第5条 検討会に、会長を置く。

- 2 会長は、委員が互選する。
- 3 会長は、会議を進行する。
- 4 会長に事故があるときは、あらかじめ会長の指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第6条 検討会は、知事が招集する。

(ワーキンググループ)

第7条 検討会には、検討会における検討事項を専門的に調査検討するため、ワーキンググループを置くことができる。

- 2 ワーキンググループの委員は、会長が指名し、又は会長の推薦により有識者のうちから知事が任命し、又は委嘱する。
- 3 前項の規定により有識者のうちから知事が任命し、又は委嘱したワーキンググループの委員の任期は、1年以内とする。
- 4 ワーキンググループに座長を置き、座長は、ワーキンググループの委員のうちから会長が指名する。
- 5 第5条第3項及び第4項並びに前条の規定は、ワーキンググループについて準用する。この場合において、これらの規定中「会長」とあるのは「座長」と、「検討会」とあるのは「ワーキンググループ」と、「委員」とあるのは「ワーキンググループの委員」と読み替えるものとする。
- 6 この要綱に定めるもののほか、ワーキンググループの運営に関し必要な事項は、座長が別に定める。

(庶務)

第8条 検討会の庶務は、富山県厚生部医務課において処理する。

(細則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、検討会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附則

- 1 この要綱は、令和3年6月3日から施行する。
- 2 この要綱の施行の後最初に知事が任命し、又は委嘱する検討会の委員の任期は、第4条第2項の規定にかかわらず、令和4年3月31日までとする。

富山県小児医療等提供体制検討会 委員名簿

所 属	氏 名
富山県厚生センター 所長・支所長会長	大江 浩
富山県リハビリテーション病院・こども支援センター院長	影近 謙治
国立病院機構富山病院長	金兼 千春
市立砺波総合病院長	河合 博志
富山県立中央病院長	川端 雅彦
富山県心臓病の子どもを守る会会長	行部 亮子
黒部市民病院長	竹田 慎一
厚生連高岡病院長	寺田 光宏
富山県公的病院長協議会長	野田 八嗣
とやま発達障がい親の会会長	八幡 祐子
富山大学附属病院長	林 篤志
富山県市長会代表	藤井 裕久
富山市立富山市民病院長	藤村 隆
富山県町村会長	舟橋 貴之
インクルーシブ子育て応援Kanon.カノン代表 富山県看護協会推薦	堀口 里奈
富山県医師会長	馬瀬 大助
富山県看護協会会長	松原 直美
富山県小児科医会長	八木 信一

計：18名

富山県小児医療等提供体制検討会
ワーキンググループ(小児医療全般) 委員名簿

所 属 ・ 役 職	氏 名
富山大学大学院医学薬学研究部 小児発達医学講座教授	足立 雄一
富山県厚生センター所長・支所長会長	大江 浩
厚生連高岡病院小児科診療部長	窪田 博道
市立砺波総合病院小児科主任部長	小西 道雄
富山県立中央病院小児科部長	畑崎 喜芳
とやま発達障がい親の会会長	八幡 祐子
富山県立中央病院小児科部長	二谷 武
富山県小児科医会副会長	村上 巧啓
富山県医師会副会長	村上 美也子
富山市立富山市民病院小児科部長	和田 拓也
黒部市民病院小児科部長	渡辺 一洋

計:11名

富山県小児医療等提供体制検討会
ワーキンググループ(こころの問題) 委員名簿

所 属 ・ 役 職	氏 名
富山大学大学院医学薬学研究部 小児発達医学講座教授	足立 雄一
いわたメンタルクリニック院長	岩田 卓也
厚生連高岡病院小児科診療部長	窪田 博道
富山大学学術研究部医学系 神経精神医学講座教授	鈴木 道雄
国立病院機構富山病院副院長	滝澤 昇
富山県立中央病院精神科医長	永井 貴裕
富山県立中央病院精神科部長	野原 茂
富山県立中央病院小児科部長	畑崎 喜芳
とやま発達障がい親の会会長	八幡 祐子
高岡市きずな子ども発達支援センター所長	水上 亜希子
富山県医師会副会長	村上 美也子
富山県リハビリテーション病院・子ども支援センター 小児科部長(児童精神)・精神科部長	森 昭憲
(オブザーバー) 医療法人社団和敬会谷野呉山病院副院長	榎戸 芙佐子
(オブザーバー) ほんだクリニック院長	本田 徹
(オブザーバー: 富山児童相談所機能強化検討委員会座長) 富山短期大学学長	宮田 伸朗

計:15名

富山県小児医療等提供体制検討会の検討の経緯

年 月 日	内 容
2021（令和3）年 6月3日	第1回富山県小児医療等提供体制検討会開催 ＜小児医療の現状や課題について＞
7月21日	第1回富山県小児医療等提供体制検討会ワーキンググループ （小児医療全般）開催
7月28日	第1回富山県小児医療等提供体制検討会ワーキンググループ （こころの問題）開催 ＜小児医療の現状や課題を踏まえた小児医療提供体制強化の 方向性と方策について＞
10月6日	第2回富山県小児医療等提供体制検討会ワーキンググループ （小児医療全般）開催
10月8日	第2回富山県小児医療等提供体制検討会ワーキンググループ （こころの問題）開催 ＜小児医療の現状や課題を踏まえた小児医療提供体制強化の 方向性と方策について＞
11月24日	第3回富山県小児医療等提供体制検討会ワーキンググループ （小児医療全般及びこころの問題合同）開催 ＜中間とりまとめ（案）について＞
12月24日	第2回富山県小児医療等提供体制検討会開催 ＜中間とりまとめ（案）について＞
2022（令和4）年 1月	県民意見募集手続（パブリックコメント）実施（～2月）
3月	第3回富山県小児医療等提供体制検討会開催 ＜最終とりまとめについて＞

小児医療等提供体制検討会ワーキンググループの提言（概要）

1 救急医療

- ・ 深夜の Walk-in 患者に対応する二次輪番病院への支援（医師・看護師の補充を含む。）

2 在宅医療（医療的ケア児）

（1）病状悪化時、災害時の対応

- 県立中央病院内における「医療的ケア児等緊急入院・災害時支援システム（仮称）」の設置
- ・ 災害時の地域ネットワークの構築及び医療機関の受入れ体制の強化（専任職員の配置を含む。）
- ・ 県立中央病院における常時完全看護ができる病床の確保

（2）平時の対応

- 県リハビリテーション病院・こども支援センター（以下「県リハ」）内における「富山県医療的ケア児等支援センター」の機能強化（専任の小児科医・医ケア児等コーディネーターの配置）と環境整備

3 こころの問題

（1）県リハの診療体制の充実

- 県リハ内における「こどもの発達／こころの医療センター（仮称）」の設置
- ・ 医師（小児科・精神科）の増員とコメディカルの配置によるタスクシフト
- ・ 専任の心理師（士）等コメディカルスタッフ（看護師、ソーシャルワーカー、メディカルクラーク、保育士、相談員を含む）の増員配置とスキルアップ

（2）子どものこころを診療できる児童精神科医及び小児科医の育成

- ・ 富山大学に寄附講座「子どものこころ診療科（仮称）」を設置
- ・ 富山大学における公認心理師の育成並びにリカレント教育を目的とする「子どものこころ診療 心理師（士）育成センター（仮称）」の設置

（3）児童相談所の機能強化

- ・ 専任の医師等医療スタッフの配置による医療・医療機関との連携強化
- ・ 児童心理治療施設の併設
- ・ 富山児童相談所は医療や福祉との連携のため、県リハの近隣に設置すべき

小児医療等提供体制検討会ワーキンググループの提言 小児医療提供体制（小児医療全般）

課題	基本的な方向性・当面の対応	長期的な課題・引き続き検討していく事項など
1. 小児科医不足	<ul style="list-style-type: none"> 日中・通常の診療は、地域における小児科及び小児科を標榜する内科においてカバーを継続 富山大学医学部入試特別枠の対象診療科として、小児科ならびに総合診療科の指定を継続する 	<ul style="list-style-type: none"> 少子化、国の働き方改革等も踏まえた人材の確保 <ul style="list-style-type: none"> 富山大学における小児科医の育成 総合診療医による小児プライマリケアへの参入促進 医療機関ごとの役割分担と連携の促進
2. 救急医療（休日・時間外診療と二次輪番体制）	<ul style="list-style-type: none"> 大学、公的病院、医師会等の協力による4医療圏ごとの小児急患センターの維持 深夜のWalk-in患者に対応する二次輪番病院への支援（医師や看護師の補充を含め） 	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な救急医療体制の検討と支援 患者の利便性、少子化、医療従事者の働き方改革の観点等も踏まえた検討と支援 <ul style="list-style-type: none"> <例> <ul style="list-style-type: none"> 新川・砺波医療圏におけるサテライト病院システムの構築 富山・高岡医療圏における小児二次輪番病院の集約化
3. 高度医療	<ul style="list-style-type: none"> 県立中央病院、富山大学附属病院、厚生連高岡病院を中心としたネットワークの構築と機能強化 	<ul style="list-style-type: none"> 各病院の得意分野（役割分担）を推進し、県民へ周知（見える化）
4. 在宅医療（医療的ケア児）	<ul style="list-style-type: none"> 病状悪化時、災害時の対応 <ul style="list-style-type: none"> 県立中央病院内に「医療的ケア児等緊急入院・災害時支援システム（仮称）」の設置 <ul style="list-style-type: none"> 災害時の地域ネットワークの構築ならびに医療機関の受入れ体制の強化（専任職員の配置を含む） 県中のGCU／小児病棟内に常時完全看護ができる病床の確保 医療機関での貸出用非常電源の整備 平時の対応 <ul style="list-style-type: none"> 県リハ・こども支援センター内「富山県医療的ケア児等支援センター」の機能強化（専任の小児科医・医ケア児等コーディネーターの配置）と環境整備 市町村における家庭支援体制の強化 小児対応の訪問看護ステーションや訪問診療の充実 	<p>医療機関としてできることの検討と支援</p> <p><例></p> <ul style="list-style-type: none"> かかりつけの基幹病院におけるレスパイト入院 医療的ケア児等支援センターとの連携 など
6. 相談支援	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援・情報提供機能の周知 <ul style="list-style-type: none"> #8000など相談支援の継続 医療情報ガイドの全国統一化への対応 	<ul style="list-style-type: none"> 身近に相談できる支援を検討 <ul style="list-style-type: none"> <例> <ul style="list-style-type: none"> オンラインや画像を活用した「顔の見える」相談支援など
7. その他	<ul style="list-style-type: none"> 医療計画に基づき小児医療について専門家が情報交換・協議する場の継続的な開催 	

小児医療等提供体制検討会ワーキンググループの提言 小児医療提供体制（こころの問題）

課題	基本的な方向性・当面の対応	長期的な課題・引き続き検討していく事項など
5. 子どものこころの問題	<ul style="list-style-type: none"> • 子どものこころの問題のプライマリケアを担う人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> ➢ クリニック小児科医・精神科医ならびに市中病院小児科医・精神科医のスキルアップ（富山大学に設置の寄附講座がサポート） <ul style="list-style-type: none"> • プライマリケア医に求められる役割の明確化 • 子どものこころの問題（発達障害、不登校、引きこもりなど）へのプライマリケアに関する定期的な実践講習会の開催 • 発達障害初期対応マニュアルの作成（既存資料の活用を含め） • 共通症状評価シートの作成と、その普及 • 専門医療機関と一般医療機関との間でのOJTの制度化 • 専門性が高い医療が必要な児への対応 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 県リハ内に「こどもの発達／こころの医療センター（仮称）」の設置 <ul style="list-style-type: none"> • 医師（小児科・精神科）の増員とコメディカルによるタスクシフト • 専任の心理師（士）等コメディカルスタッフ（看護師、ソーシャルワーカー、メディカルクラーク、保育士、相談員を含む）の増員配置とスキルアップ • 外来・病棟設備の充実 • 教育現場や福祉／行政との連携強化 ➢ 専門医療機関における役割分担の明確化と連携の強化ならびに施設整備 <ul style="list-style-type: none"> ＜例＞ <ul style="list-style-type: none"> • 県リハ：発達障害、摂食障害など 高岡きずな：発達障害など • 富山病院：発達障害、不登校（二次障害、欠損家庭）など • 県中精神科：各精神科疾患の緊急対応や入院治療（行動化や自殺企図などを含む） • 富山大学：バックアップ ➢ 子どものこころを診療できる児童精神科医ならびに小児科医の育成 <ul style="list-style-type: none"> • 富山大学に寄附講座「子どものこころ診療科（仮称）」を設置 <ul style="list-style-type: none"> • 人員：教授1、講師1、助教2、心理士2、事務1 • （10年程度の）長期的展望に立って運営 • 富山大学に公認心理師の育成ならびにリカレント教育を目的とする「子どものこころ診療 心理師（士）育成センター（仮称）」を設置 ➢ 児童相談所の機能強化 <ul style="list-style-type: none"> • 専任の医師等医療スタッフの配置による医療・医療機関との連携強化 • 児童心理治療施設の併設 • 富山児童相談所は医療や福祉との連携のため、県リハビリテーション病院・子ども支援センターの近隣に位置することが望ましい • 学校等における発達障害等への理解促進 • 富山県総合教育センターの子どものこころに対応する教育職と心理師（士）の増員 	<ul style="list-style-type: none"> • 子どものこころの問題のプライマリケアが可能なクリニック／市中病院の見える化 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 子どものこころの診療が可能な医療機関をホームページなどに掲載し、保護者や学校関係者等が相談しやすい体制を構築する • 専門医療機関へスムーズに入院できるシステム作り <ul style="list-style-type: none"> ➢ 患児が入院しやすい環境づくり（例：小児精神科ユニットの設置） ➢ 小児の精神科疾患の緊急対応のための医療機関のネットワーク作りと機能強化 • 医療機関における診療体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 専門のコメディカルスタッフの安定雇用（常勤化など） ➢ 患児の状態に応じた段階的な診療体制の構築 ➢ 児童精神科医の育成状況を踏まえた入院治療体制の構築 • 長期入院を要する子どもの医療費助成 • 県全体で連携し、子どもの心を支える体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 発達障害児への継続的な（途切れることのない）支援や医療の確保 ➢ 児童相談所、学校など関連機関との連携促進 ➢ 虐待を受けている子どもやトラウマを負った児に関し、地域や家庭からの専門的知識や技術を必要とする相談に応じる『児童家庭支援センター』の設置 • 予防的視点からの啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 保護者や教育関係者に対して発達障害の早期発見と早期対応の重要性を伝えていく ➢ 一般市民に対して「発達障害児（者）と共生する社会」の実現に向けた啓発活動を続けていく